

I 集落座談会報告書

1 集落座談会の概要

(1) 集落座談会の目的

現行の第2次中山間地域振興計画が2024（令和6）年度に終期を迎えるため、2025(令和7)年度を始期とする第3次中山間地域振興計画を策定するにあたり、地域の現状や課題等を把握し、計画に反映させることを目的とした集落座談会を2023（令和5）年6月17日～12月6日の間、合計22か所で実施しました。

(2) 開催日程・参加人数等

地区	団体名等	組織分類	日 程	会 場	参加人数
天竜	県立天竜高等学校二俣校舎	高等学校	6月17日(土)	天竜区役所	13
水窪	神原自治会	自治会	6月19日(月)	水窪山村開発センター	10
天竜	西鹿島自治会	自治会	6月20日(火)	天竜児童館	23
天竜	熊地域自治会	自治会	6月21日(水)	大地野老人憩いの家	9
天竜	剣道クラブ保護者	若年層	6月23日(金)	天竜区役所	19
都田	滝沢・鷺沢自治会	自治会	6月28日(水)	都田協働センター	26
佐久間	県立浜松湖北高等学校佐久間分校	高等学校	6月29日(木)	佐久間協働センター※	10
水窪	大野自治会	自治会	7月3日(月)	大野集会場	13
佐久間	中部自治会	自治会	7月3日(月)	佐久間協働センター	9
春野	春野地域自治会①	自治会	7月4日(火)	春野協働センター※	20
三ヶ日	三ヶ日まちづくり協議会ほか	地域団体	7月5日(水)	三ヶ日協働センター※	12
春野	春野地域自治会②	自治会	7月6日(木)	春野協働センター	19
引佐	寺野自治会	自治会	7月8日(土)	寺野公民館	16
春野	県立天竜高等学校春野校舎	高等学校	7月11日(火)	春野校舎	12
佐久間	野田自治会	自治会	7月15日(土)	野田自治会館	17
佐久間	PTA・消防団	若年層	7月18日(火)	佐久間協働センター	11
春野	PTA・消防団ほか	若年層	7月25日(火)	春野協働センター	18
水窪	PTA・地域団体	若年層	7月27日(木)	水窪山村開発センター	12
引佐	伊平自治会	自治会	8月4日(金)	伊平基幹集落センター	15
引佐	PTA・NPO法人ほか	若年層	8月20日(日)	田沢多目的集会所	8
龍山	大嶺自治会	自治会	12月6日(水)	龍山協働センター※	7
龍山	瀬尻自治会	自治会	12月6日(水)	龍山森林文化会館	16
開催数：計22回			参加住民数：315人		

※2024（令和6）年1月1日の行政区再編に伴う組織改正により、上記の協働センター（都田を除く）の名称は支所に変更されている。

2. 集落座談会での主な意見

天竜：県立天竜高等学校 二俣校舎

13人（生徒 11人・教員 2人）

2023(令和5)年6月17日(土) 13:30～14:30

【ワークショップ】

場所：天竜区役所21・22会議室

（方法）①参加した高校生を2グループに分ける。

②「日々の生活から感じること」、「暮らしやすい、暮らしにくいところ」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。各グループで発表する。

③②を参考に今後地域をどうするべきかを協議。「自分たちでできること」、「行政に望むこと」に分けて整理し、各グループで発表する。

●「日々の生活から感じること」

項 目	良い点	悪い点
買い物	• ドラッグストアが多い • クローバー通りに商店が増えてきた	• 古い商店が多い • ショッピングモールのような大型商店がない • 物価が高い • 個人店が多く、チェーン店が少ない
交 通	_____	• 通学・通勤時等バスが混んでいる • 交通手段が少ない • バスの運行本数が少ない • 車の走るスピードが速い • 夜間のバイクの音がうるさい • 信号の待ち時間が長い • 道が狭いところがある • 道がガタガタしているところがある • 車通りが少ない • 街灯が少ない • 夜暗い場所が多い • 押しボタン式の信号機が多い
人	• 人情が厚い • 地域の人が挨拶してくれる • 地域の人が温かい • 人と人との関わりが多い	_____
自 然	• 川がきれい • カエルの鳴き声がにぎやか • 空気がきれい • 自然が豊か • 自然を大切にしている • 草むらや森で過ごしやすい	• 夏は暑く、冬は寒い • 盆地なので風が通りにくい
情報社会 基盤	_____	• インターネット環境が悪い • 携帯電話など電波状況が弱い

項 目	良い点	悪い点
伝 統	• 昔ながらの物が多い • 文化や歴史を大事にしている	_____
その他	• 運動している人が多い	• 病院が少ない • 流行の物を売っていない • 坂道が急勾配のところが多い • 見た目が田舎と感じてしまう • 学生が行くような店が全くない • 遊ぶ場所がない • 若者が楽しめる場所がない • 虫が多い（害虫、ハエなど）

●「暮らしやすいと感じるところ・暮らしにくいと感じるところ」

項 目	暮らしやすい	暮らしにくい
食	• 川がある • バーベキューができる • 水が美味しい • 野菜や肉などの食べ物が美味しい	_____
自 然	• インターネットにとらわれない、ゆっくりした生活ができる • 空気が良く、静かなため1人でゆったりできる • 自然に触れりフレッシュできる • 自然との触れ合いができる • 日当たりが良い	• 土砂・風水害等災害が多く暮らしにくい • 夏は暑く、冬は寒い • 虫が多い
金 銭	• 都市部に行きたくなる • 物を買う機会が少ないのでお金がたまる • 土地代が安い	_____
人	• 人が静か • 人情がいい、話しかけてくれる • みんな親切 • 人のやさしさが心地よい • 人同士の関わりが多いから楽しく生活できる • 地域をいかしたイベントが多く地域をより知ることができる • 地域のイベントに協力的 • 高齢者は過ごしやすそう	• こどもの数が少なく同年代の友達が少ない
治 安	• 散歩がしやすい • 犯罪が少ないように感じる	_____

項 目	暮らしやすい	暮らしにくい
買い物	• 天竜地域にしかないお店がある • いろいろなお店がある (お菓子屋、理容室)	• 商店が少ない • 買い物をするところが少ない • ネットじゃないと買えないものが多い • デリバリーサービスが来ない • ショッピングモールのように一度に多くの買い物ができるところが少ない • ガソリン代など交通費がかかる (店が少ないため)
その他	• イベントごとが多い • 一軒家が多いからこどもが育てやすい • 自給自足しやすい	• 回覧版をまわさなければならない • 大きな怪我や病気をした時など受診できる病院が近くにない • 携帯電話などの電波状況が悪い

●「自分たちでできること」「行政に望むこと」

項 目	自分たちでできること	行政に望むこと
活性化	• 地域の店で商品を買う • 地域と高校がつながれるようにイベントを開催する • 積極的に地域の祭りに参加する	_____
ボランティア	• 人と人の関わりを広げるためにボランティア活動へ参加していく • 草取り・美化活動 • 災害復旧作業の手伝い • 地域行事の手伝い • ごみ拾い • 草刈り部をつくる	_____
PR	• マスコットキャラクターを考える • パンフレットをつくる	• 天竜区に入って来た時の看板を目立たせる • マスコットキャラクターをつくる
若者へのPR	• 廃止になった施設で映えスポットをつくる • 森をいかしたサバイバルゲーム場をつくる • 地域の祭りをSNSなどで宣伝する • 天竜区の未来を考える若者会議を発展させる	• インスタグラム開設
施設リニューアル	_____	• 廃校でイベントを開催 (宿泊系イベントや鬼ごっこなど) • 廃止になった施設を活用し日用品を売る • 廃校をリニューアルし活用する
移 住	_____	• 天竜に林業系の大学をつくる • インターネット環境をよくする • 新しいお店を開きたい人が開きやすいように空き家などを整備しておく • 都会の小学生を学校行事として天竜に呼ぶ(茶摘み体験など)

●「自分たちでできること」「行政に望むこと」

項 目	自分たちでできること	行政に望むこと
ハード インフラ	_____	• バスの運行本数を増やす • 道端にゴミ箱を置く • 道路の整備
その他	_____	• 新しい防災グッズをつくる • 公園・こどもが遊べるところを増やしてほしい • お店を増やしてほしい • 空き家を活用する取り組み • 通学などの交通費免除や補助をしてほしい • 携帯電話など電波状況を良くしてほしい • もっとイベントを増やす • 資格を取得できる場所をつくってほしい

水窪：神原自治会

自治会 10人

【座談会】

2023(令和5)年6月19日(月) 19:00~20:35

場所：水窪山村開発センター集会所

主な意見

(1) 集落全般について

- ・ 神原自治会は水窪地域の中では2番目に大きい。
- ・ 高齢化、医療、福祉、職場が少ない等それぞれの悩みがある。
- ・ 天竜区はクラスター型の哲学に賛成していた。風土や伝統は同じようなところもあるが、それぞれの個性がある。その個性を尊重してほしい。
- ・ 天竜区について知らない市民が多い。都市部と交流する仕組みをつくってほしい。天竜区のことを理解してほしい。
- ・ 以前に都市部との交流の話があったが、人数が多いと旅館がないので受け入れられない。できる範囲での交流会を考えてほしい。
- ・ 鳥獣被害が増えている。家の裏に、シカやサルが出たという話を毎日のように聞く。畑の作物を食べられる。国道沿いにもシカやサルがいる。
- ・ 移住者が来ても、働く場所がない。
- ・ 佐久間はアワビの陸上養殖、春野はチョウザメの陸上養殖をやっている。水窪にはワカサギがいる。活用して客を呼ぶ手伝いをしてほしい。他所から人を呼び水窪町内でお金を使ってもらう。そこから一步一步やる。
- ・ 漁協が鮎を放流したが、大雨で流された。水窪川はきれいなので活用して人を呼ぶ。
- ・ 商工会では祭りで町を活性化したいという考えがある。高齢者は楽しみが少ないが、水窪まつりで子や孫が帰って来る。露店が来るのを楽しみにしている。高齢者も祭りの時は元気になる。ふるさととは心のよりどころ。協力してくれる企業が少なくなり資金がないが、できることを一所懸命やっていく。花火も今よりも1発でも多くあげて賑やかにやっていく。
- ・ コロナ禍でも水窪まつりの時に屋台（囃子）をやってくれた。嬉しかった。
- ・ ドローンを活用できないか。
- ・ 医療や買い物の安心がほしい。

- ・ 今年は小学1年生がいない。初めてのことだと思う。こどもが少ない。
- ・ 限界集落に入っていると思う。
- ・ 老々介護で近所や親戚と助け合って頑張っている。
- ・ 高齢化で仕方がないが、できる範囲でやればいい。
- ・ 地域の組合の付き合いは大事だと思う。付き合いができなくなり組合を辞めたいという人もいる。
- ・ 若者がいない。
- ・ こどもの所に転居しても都会に馴染めず水窪に帰ってくる人もいる。なんだかんだ言っても生まれ育った水窪が一番良い。
- ・ 民生委員より隣近所の人の方が詳しい。田舎も都市化してきている部分もあるが、昔のつながりを取り戻したい。
- ・ 北遠の果てだが良い文化も残っている。守っていききたいが後継者がいなくなっている。
- ・ 地域でできることはやる。できないことをお願いする。
- ・ 長男の嫁が空き店舗を借りて、通り沿いに灯りをともしたりしている。
- ・ わかふじ国体の時、山岳競技があり民泊を経験した。
- ・ 高齢化と少子化により行事など困難になってきたが自分なりに頑張っている。
- ・ 自然がある。風景がきれい。山歩きなど体験させたい。
- ・ 空気がおいしい。

(2) 道路・交通について

- ・ 国道152号はここ数年、土砂災害があり、その度に迂回になる。
- ・ 国道152号（生活道路）の崩落を100%防ぐのは無理だと思う。そういう危険なところに住んでいるという認識をもってほしい。行政サイドは命にかかわる道でもあるので、崩落を食い止めるよう、センサーを設置する、広葉樹を植える、監視カメラを設置する、雨量計を増やすなど、情報収集を今以上に徹底してほしい。浜松市は情報を分析したうえで、速やかに市民へ伝えるシステムをつくってほしい。
- ・ 大雨でも店の仕入れに市場まで行く。トラックが通過した直後に崩土が起きたこともあった。そのような所に住んでいる。
- ・ 道路は1回崩れると復旧に時間がかかる。生活道路がないとすごく大変だ。仮復旧でも通れるようにしてほしい。合併してからは工事が終わるまで通れない。住み続けてもらうためにも考えてほしい。
- ・ 6月上旬の大雨で国道が通れなかった。生活に困る。仕入れに行けないと食べ物も入ってこない。新聞も数日届かなかった。
- ・ 仕事で天竜に通勤している。3年前の災害の時は三遠南信自動車道で帰宅した。今回は三遠南信自動車道も通行止めになり帰宅できなくなった。迂回路の確保が大切だと感じた。
- ・ 大雨の後に県道大輪天竜線を通行したが状態が悪かった。国道と県道が通れなくなると生活できない。普段から県道大輪天竜線も整備してほしい。
- ・ 他県から来ている工事業者が龍山の災害現場に入った時、浮石が怖いと言っていた。
- ・ 山の手入れが大事。
- ・ 林道でも生活道路になっている。林道だからと言って後回しにならないよう修繕してほしい。
- ・ 他地域から林道を通して、子が親を迎えに行き病院に連れて行っている。聞いただけでは苦労は分からない。現地を見てほしい。

(3) 空き家について

- ・ 高齢化がひどい。隣も空き家になった。
- ・ 空き家が増えている。持ち主と連絡取れない。放置すると倒壊の危険がある。行政から情報がほしい。

(4) その他

- ・森林組合は天竜区内に5組合ある。地域の人材確保につながるよう、行政も側面から支援してほしい。
- ・浜松山里いきいき応援隊は良いと思う。助けてもらっている。人員を増やしてほしい。
- ・振興計画を作成したら毎年チェックしてどのように進めているか教えていただけたら、自分ごととして考えていけるかと思う。

天竜：西鹿島自治会

【ワークショップ】

自治会員 23人

2023(令和5)年6月20日(火) 19:00~20:30

場所：天竜児童館

(方法) ①参加者をくじ引きで5グループに分ける。

②「日々の生活から感じる暮らしやすい、暮らしにくいところ」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。各グループで発表する。

●Aグループ

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	_____	・内科・小児科がほしい ・鹿島地区に病院がほしい ・閉鎖された鹿島保育園を何か活用してほしい
買い物	_____	・商店が減ってさびしくなった ・電子決算書が増え、手間がかかる ・野菜や果物、魚など買える店が近くにない ・大型スーパーが来てほしい
産 業	_____	・西鹿島駅周辺がさびしい、もっと遠州鉄道を巻き込んだ施策（地元商店の活性化を含めて）を希望
防 災	・12月の防災訓練は出席者も多い	・鹿島は水害に強いが、北遠全体では大変な地域が多い
交 通	・遠州鉄道があるので街中へ行くのに交通手段があり便利 ・人の通過は多くなった ・西鹿島駅が明るくきれい ・新東名高速道路のICにより人と物の流れができた	・高齢者の移動手段が整備されていない
こども	・こどもたちが大きな声で挨拶してくれる ・鹿島の祭典はこどものための祭典でとても良い ・児童館は市内でも3か所しかなく貴重である	_____

●Aグループ

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生 活	• 畑作地が多く農業がしやすい • 落ち着きがあり暮らしやすい • 日赤奉仕団では西鹿島駅で募金をしている • 班の人たちのまとまりがある	• 夜になると道が暗い • 八幡様（神社）の歴史を知る手段の整備が必要 • 地域での協働はできているが、多くの意見への対応が自治会では困難 • 同報無線が聞こえにくい
イベント	————	• 地域の行事などが少なくなった
教 育	————	• 鹿島に住んでいるが清竜中学校ではなく浜北北部中学校に通っている生徒もいる
通 信	————	• インターネット、携帯電話がつかない地域がある
水 道	————	• 鹿島の水源が閉鎖されてしまった
その他	• 地域ボランティアが盛んに地域活動してくれている（挨拶運動など）	• 母子家庭、独居老人等低所得世帯は自治会費、こども会費は免除してほしい • 地域ボランティアの後継者がいない

●Bグループ

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	————	• 医療体制に不安を抱えている • 夜間救急があったら良い
買い物	————	• 店の数が減少し商店街が寂しい • 一人暮らし(高齢者)の家が増えて防犯が心配
産 業	————	• 工場誘致のため、他地域と補助金に差をつける、税の優遇などが必要
防 災	————	• 同報無線の聞き取りが悪い • 浜名用水（暗渠）の安全性が不安
交 通	————	• バスの便数が少なくなった • 北部への交通手段が乏しい • 高齢者、車に乗らない人の移動手段、二俣町へ出向く場合など不便
こども	————	• こどもたちの遊んでいる姿を見かけることが少ない • こどもたちの遊び場や預かる施設が充実してほしい • こどもの数だけでの育成会の予算では中山間は活動できない

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生 活	_____	• コンビニエンスストアで買ったものを食べたままゴミを置いていく人がある • 鹿島保育園を使わせてほしい • 住所表記が長すぎる（二俣町は不要） • 3区割りで今後が不安 • 地面割りの議員数を要望
イベント	_____	• 高齢化に伴い各種地域行事参加者が減少している
通 信	_____	• 家族間でも会話がスマホ中心となっている
水 道	_____	• 以前の冷たい水はどこへ行ってしまったのか？
その他	_____	• 畑が住宅地並課税となり税金が高くなった

●Cグループ

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	_____	• 地域ボランティア活動団体の高齢化、若い人の不参加により運営が厳しい
買い物	• 西鹿島駅前のコンビニエンスストアは防犯の意味でもよい • 西鹿島駅前にコンビニエンスストアができた	• 近くにお店が少なくなって高齢者は買い物に苦労している
産 業	_____	• 林業が無くなってしまった後の産業が不安
防 災	_____	• 清竜中学校は避難所となっているが、浸水地域であるため大丈夫なのか心配 • 避難所がなぜ二俣協働センターとなっているのか？ • 降雨時の水はけが悪い箇所がある
交 通	_____	• 浜北インター、飛竜大橋に連なる阿蔵山の開発に伴い、道路状況は良くなったが、西鹿島駅周辺の賑わいが薄れつつあるように思う • 高齢化に伴い道路掃除が負担になっている • 西鹿島駅周辺の整備や活性化が必要 • 鹿島にテーマを付けて、活性化したらどうか？
こども	_____	• こどもたちの居場所がほしい • こども、若者、大人はどこで遊んでいるのか不明 • こどもたちが習い事をする場が少ない

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生 活	• 地域間の連携、人と人との関わりが温かいということ • 道路愛護活動、防災訓練などほぼ90%の参加率である • 地域のつながりの意識の高さを感じる	• 児童館の設備が古く使用できない、料理教室などに使いたい • 山＝空気、水、市民の生活に欠かせないもの。供給の地である天竜区を大事にしなければいけない
イベント	————	• 地域の祭りの意義がわからない
通 信	————	• SNSなど高齢者には困難
水 道	————	• 水源を天竜川地下水から変更した
その他	————	• 都市ガスを整備してほしい

●Dグループ

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	————	• 一人暮らしの方のケア（サポート）はどうなっているのか • 近くに総合病院など大きな病院がない
買い物	• 買い物はスーパー等があり困らない	• 個人商店の減少、スーパーで大方済ませられるが昔の商店の良さがいい
産 業	————	• 地域に産業がない
防 災	————	• 適切な避難所にしてほしい • 同報無線の聞こえが悪い所がある • 線状降水帯が怖い・不安 • 避難所などに防災グッズが足りているのか心配
交 通	• 北遠の玄関口としての役割を担っている	• 電車の運賃が高い • 側溝の蓋がぼこぼこしていてベビーカー、手押し車が押しにくい • 歩道が狭いところがある • 公共交通機関が少ない • バス代等の補助があるといい
こども	————	• こどもが近くにいない • 住宅が増え、こどもの数が多くなったがこどもと知り合いになる機会が少ない • 二俣小学校のバス通学者のために無料バスなど整備してほしい

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生 活	銀行、郵便局が近くにあるって便利	- 近所付き合いが少ないため何かあったときに心配 - 山間部をPRするサイネージを浜松駅で流す - 人工林を広葉樹林にする - 阿蔵山を活用して動物園を設置 - ごみの収集場でカラスの被害がある - ゴミ出しマナーの悪い人がいる - 世代間交流が少ない
イベント	_____	鹿島の花火はもう少し盛大に開催してほしいと感じる
水 道	_____	- 水道の水質が以前より悪化している(カビ臭) - 水道の水圧が弱い - 冬季は水が昔より温度が高い、夏季は逆
その他	_____	- 若者たちが天竜区から浜北区に移ることが多い - 若者たちが残るにはどのようにしていくと良いのか

●Eグループ

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
医療福祉	_____	高齢者が困っているときの助け合いが気軽にできるといい
買い物	_____	- 飲食店の減少（流動人口は多いが、店が減っていくのが寂しい） - 浜北まで行かないと飲食店が無い - 車に乗れないと買い物が不便 - 高齢者に優しくない
産 業	_____	- 若い人材が不足している - 地域に工場が少ない
防 災	_____	- 避難場所が清竜中学校で大丈夫か不安 - 洪水対策のための下水掃除はどうなっているのか
交 通	_____	- 歩道が狭く車もスピードを出すので、こどもの登校が危険 - バス停の屋根が狭い
こども	_____	- 地域の人たちの学校への関わりが少ない - 地域の歴史をこどもが知らない、地域に誇りを持たせるための教育をしてほしい - 公園に雑草が多くてこどもが遊べない - こどもが安全に遊べる場所がない

項 目	暮らしやすいところ	暮らしにくいところ
生 活	_____	・鳥羽山公園の整備をしてほしい ・代行が来ない ・若者が集まる娯楽施設がない ・家族で食事をするところがない

天竜：熊地域（大地野、坂野、寺平自治会）

自治会 9人

2023(令和5)年6月21日(水) 19:00~20:30

【座談会】

場所：大地野老人憩いの家

【地域全般について】

- ・小学校の校外学習などを通して、こどもに中山間地域の大事さ、必要さ、良さ、意義を伝えたい。地域外に発信したい。
- ・車で30分走れば働く場所もある。地域にはこどもを通わせる学校があるため、個人的には不便はない。
- ・地域としての方向性が定まっていない。例えば、秘境地として観光地化するのか。また、産業を発展させて人口を増やすのかなど。
- ・子育て現役世代の同年代が減っている。
- ・集落の祭典やいろいろな行事を人が少なくなり開催できない。
- ・消防団員が少なくて消防団活動が回らない。
- ・蛍を見る会の活動も人が少なくてできず、38年続いたイベント活動が今年初めて中止になった。
- ・青年クラブは36年続いている。
- ・地域内での助け合いが当たり前に行っている。福祉や介護問題が助け合いで解決しているところが大きい。
- ・中山間地域の持つ良さをみんなで再認識、再確認をしていく。今後があつたら良いと思う。
- ・地域内の人や家族構成は、顔から全部わかっていて話ができるので交流ができています。
- ・民泊に来るお客さんは「ここはいいとこだ」と感動してくれるが、住むか？と聞くとそうではない。
- ・隣家まで10mくらいの距離で住めるというのは贅沢だと思う。
- ・水がとてもきれいで安心して飲める。
- ・病院の通院に1時間以上かかる。
- ・東京に居たことがあり楽しかったが住みづらかった。熊地域は自然の匂いがするし、車の騒音がない、人がたくさんいない、空気が澄んでいるのでとても暮らしやすい。

【交通について】

- ・街に住んでいる人たちと中山間地域に住んでいる人たちとの距離感の違いを感じる。（街中の人には熊地域をととても遠くに感じているが、中山間地域の人たちは街へ行くのはあまり遠く感じていない。）
- ・道路を整備して街の人でも安心して来られるようにしてほしい。
- ・側溝に蓋がないところがあり危険、脱輪してしまう車がある。
- ・熊中学校が清竜中学校に統合され、清竜中学校の校外活動で生徒が熊に遠足に来ることがある。そこで生徒から、電気は通じているか、水道はどうしているのか？との質問があった。
- ・車が運転できなくなると生活ができなくなる。家にこもりっぱなしにならないか、非常に心配だ。
- ・浜松市と合併してから県道9号線の改良が行われていない。

【こどもについて】

- ・幼稚園・小学校が地域から無くなったら寂れていく一方だと思う。
- ・こどもは少ないが低学年と高学年と一緒に遊んでいることが多くて良い。
- ・こどもたちは地域の人と気兼ねなく話ができてコミュニケーション能力が高いと思う。
- ・こどもの存在は大人の生きがい。
- ・幼稚園、小学校は消滅させないでほしい。
- ・こどもたちの頑張りは大人の力になる。
- ・東区に住んでいる孫が休みの日に熊へ来るとのびのびとしている。
- ・熊には6、7世帯ほど子育てをしている移住者がいる。その中の多くが自然豊かな熊でこどもを育てたいという気持ちを持っている。
- ・熊で育ったこどもが大人になっても熊に住み続けてくれる、そんな人たちがだんだんと出てくると良いと思う。
- ・こどもの時に田舎体験をさせる大切さがある。
- ・こどもの声が地域からどんどん聞こえなくなっているのはさみしい。

【災害について】

- ・災害復旧で道を元に直すことだけ考えている。新たな道の整備や既存道路の改良など道路整備を考えてほしい。
- ・避難所がとても危険なところにあるため、避難することをためらってしまう。

【行政について】

- ・人員配置について地域事情の分かる職員を配置してほしい。

【くま水車の里について】

- ・会員たちで一生懸命頑張って、約30年続けてきていろいろなことを経験した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けてお客さんが減り、1か月くらい休業もした。
- ・コロナ禍が明けて、ここからというときに、次は大雨の災害が起きてしまった。
- ・多くの困難の中、会員たちはどうすれば収入が増えるか、体験を増やす企画を実施するなど工夫しながら頑張っている。
- ・交流人口を増やそうと頑張っているが増えていかない。
- ・いろいろな意味で熊地域が頑張っていることをみんなに理解してほしい。

【買い物について】

- ・移動販売車が非常に便利。販売員も非常に気さくで地域のこともだんだんと分かってくれて世間話もしてくれる。
- ・地域には少ないがお店はある。

【その他について】

- ・竹や倒木を山の中に串刺しのように放り込んでいて危ない。
- ・ふれあいセンターが事業を数多く実施してくれる。そこへ行くと必ず友達が来るし、いろいろなことを覚えられるので十分活用している。
- ・くまデイサービスでは利用者が自分たちで料理をつくる取り組みをしている。それを参考にして高齢者が安心して、共同で生活できる仕組みができればよいのではないか。
- ・シカが増えマダニが多くなったので、こどもを山に行かせられない。一番こどもが自然と触れ合えないといけない田舎なのに。
- ・ダニが多い。
- ・結婚した途端に地域外に転出してしまう。理由の一つに奥さんの理解が得られない。女性に選ばれるような環境がないと。

(方法) ①参加者を来場順に5グループに分ける。

②「日々の生活から感じること」、「暮らしやすい、暮らしにくいところ」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。代表して2つのグループが発表する。

●Aグループ

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交 通	_____	• 地域や目的地によって公共交通機関が不便な時がある • 大井平集落への市道が廃れて困っている • 横断歩道が見にくい場所がある
環 境	• 天竜美林に囲まれた環境は大好き • 静か • 自分は県外だが地域の方々は優しい	• 山林に手入れが入らず廃れて倒木がそのまま放置されている • 携帯電話の電波状況が悪い
地 域	• ご近所付き合いが良好	• 集落の高齢化が問題 • こどもが氏神様の祭りを体験していない(後継者に不安を感じる)
医 療	_____	• 開業医が高齢化している
防 災	_____	• 災害が多く発生し、被災を受けやすい • 大井平地区は同報無線が無く困っている
子育て	_____	• こどもだけで出かけるのに不便
教 育	• 自分のこどもが小さいときの保健師さんが優しくてよかった	• 高校など通学に不便を感じる • 都市部に比べ学力に不安、また、教育に差を感じる(ソフト面・ハード面)
産 業	_____	• コンビニエンスストアがほしい
その他	_____	• 公園などもっと整備を充実してほしい

●Bグループ

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交 通	• 町に比べて犯罪や交通事故が少ない	• 道が狭い所がある • 車がないと生活できない • バスの運行本数が少ない

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
環 境	• 自然が豊か • 穏やかな人・町	• 若者に住んでほしいけど土地がなかなか無い • 夏場暑いので避暑地のようなところがほしい
地 域	• 祭りへの取り組みが盛ん • 他県から引っ越してきてなじみやすかった	• 地域内に働く場所が少ない
医 療	—————	• 耳鼻科・皮膚科医院が閉院して困っている
防 災	• 昨年の災害の後の山崩れの対応が早かった	—————
子育て	• 自然に囲まれてのびのび生活ができる	—————
教 育	—————	• 雨天時のこどもの遊び場がない • 高校にも給食がほしい • 高校が遠い、通学費など何かしらの補助がほしい • 習いごとの情報が少ない (人に聞くしか方法が無い)
産 業	—————	• 浜北までいかないと商店などが無い
その他	—————	• 害獣に困っている (イノシシ、シカ、サル、アナグマ)

●Cグループ

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交 通	—————	• 道路が少ないので交通渋滞する • 街灯が少ない • トンネル内の電灯が暗すぎる • 電車の運賃が高い
環 境	• 四季を五感で感じられる • 夜は静かで寝やすい • 水道水そのまま飲んでもおいしい	• 野生動物が多く危険、山から地域に出没して怖い
地 域	—————	• デリバリーサービスが来てくれない • 転入世帯が自治会の活動に協力的でない • 自治会に入らない方が増えているので、何か組織を変えた方がいいかもしれない
医 療	—————	• 子育て世代に必要なものが足りない
防 災	—————	• 災害時ライフラインが心配 • 災害への不安が増した

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
子育て	• こども同士の関係が濃い（上下関係）	————
教 育	————	• 高校の教科書代が高い • 小学生の通学時のヘルメット無しはなぜなのか疑問 • 天竜高校の部活が少ない、文化部が少ない • 天竜高校以外に通う通学手段が少なく通いにくい（高校を選べない）
産 業	————	• クローバー通りが寂しい
その他	————	• 中山間地域に住んでいるメリットを感じにくい（住宅は安くしてくれるとか、駐車場は2台OKとか）

●Dグループ

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交 通	————	• 公共交通機関で区役所に行きにくい • 区役所までバス停からの坂道がきつい • バスが数時間に1本ずつしか通っていないので一生住むには難しいと思う。（通学にも困る、高校から特に） • 遠鉄バスが山東バス停までになってしまい、それより北方面の家は不便
環 境	• 何も無いところがよい • 虫などの鳴き声がよい（セミ、フクロウ）	• 浜松市の上水道がすべての地域に届いていない • 核家族での生活が想定されていない
地 域	• 近所に知らない人がいない	• 船明地区に新しい家が増えているが、ごみ収集場が少なすぎる • ごみを荒らすカラス被害が多い
防 災	————	• 家の前の堀が増水時に土砂がたまる • 災害時の情報が少ない
子育て	————	• 子育て世代が少なく学校も減っている
教 育	• 学校のこどもの数が少ないので教員の目が行き届いていると感じる	• こどもが少なく、こども同士で遊ぶ機会が少ない • 大雨警報時の休校が多い
産 業	————	• 地域内に商店がもっとほしい

●Eグループ

項 目	暮らしやすい点	暮らしにくい点
交 通	_____	• バスの運行本数を増やしてほしい • 山東から船明にバスの車庫を移転してほしい • 船明地区に横断歩道を増やしてほしい • スーパーの前の信号待ちが長い
環 境	• 家の近くに蛍がいる • 静かで住みやすい • 自然が多くて子育てにはとても良い環境	• 危険な生き物と遭遇する場合がある • 旧佐久間線沿いの水路が大雨の時にあふれて二俣小学校に避難ができない • 桜並木の木が老朽化しているが、なくなってしまうのは寂しい
地 域	_____	• 地域に新しい住人が多く、決まりごとが無く役員が困るときがある
防 災	_____	• 家の近くのがけ崩れが怖い
子育て	_____	• こどもが集まれる(遊べる)場が減ってきた
教 育	• 小学校複式学級だが学びは豊か	• 教員の平均年齢が高い年がある • 交通費が高いので通学可能な高校が限られてくる
産 業	_____	• 近くにスーパーがあるといい(徒歩でいけない) • 山林はあるけれど木材として活用されず山が荒れていて山道も崩れたりしている
その他	_____	• スケボーパークがほしい(ローラーブレードやスケボで遊ぶ場所がないので道路でやるしかない) • 公園はあるが小さな子が遊べる遊具が少ない

都田：滝沢、鷺沢自治会

【座談会】

自治会 26人
2023(令和5)年6月28日(水) 19:00~20:00
場所：都田協働センター

○地域の10年・20年前が今とどのように違うか、どう変わっているのか

【空き家について】

- ・ 空き家が多い、滝沢町だけで10軒ある。空き家を再利用したいが、何か良い方法はないか？
- ・ 地域から出ていく人ばかりで入ってくる人がいない。
- ・ 3人の息子がいるが、それぞれ町から出てしまった。自分の代で空き家になる可能性が大きい。

【地域の状況について】

- ・高齢化が進んでいる。核家族が多く、2世帯家族は珍しい。
- ・若者は農業をせず、街（都田等）へ転出してしまふ。
- ・災害危険区域に指定されていて住宅を建てるのみ制約があり、住むことが容易でない。旧滝沢小学校のグラウンドも区域指定されている。
- ・滝沢にも人が住んでいることをわかってほしい。
- ・コロナ禍が落ち着き、祭りや敬老会を開催していきたい。自治会だけでは開催できないので、女性部と協力して開催していきたい。過去に町民大会があったが現在は若者がいないため開催していない。10年、20年前とは全く違う点である。
- ・最近シカが増えた。行政で狩猟の組織をつくってほしい。
- ・鷺沢町は、世帯数19戸、人口48人、平均年齢は68才。
- ・「空気が美味しく緑がきれい」は当たり前で、住むだけなら十分。
- ・自治会役員の兼任が多い状況である。
- ・自治会費が高額。移住者に説明すると驚かれる。税制面等何らかの補助が市からあると嬉しい。

【学校の統廃合について】

- ・学校がなくなり、農協がなくなり、保育園もなくなった。負のスパイラルが止まらない状況。
- ・学校を統廃合するにあたり、市に対し支援をお願いしていたが全く音沙汰ない。今になって色々と言われても手遅れであり、統廃合の時点でしっかりケアしていれば若者たちがこの地域から出て行かずに済んだと思う。

【農業について】

- ・10年前は他の人に負けまいと耕作をしてきたが、今は年金で生活していれば良いという気持ち。

【一人暮らし高齢者世帯への地域の支援について】

- ・一人暮らしが増えてきた。一人暮らしの高齢者世帯に対しては、何かあった時に緊急連絡で対応できるシステムを市でつくってくれと助かる。
- ・一人暮らしの家庭には民生委員が自治会長が時々訪問している。しかし、災害の時は難しいかもしれない。
- ・現民生委員が、移動スーパーに顔を出して高齢者の生活情報を収集している。あまり姿を見ないときは直接、民生委員が自宅へ様子を伺いに行っている。

【移動スーパーについて】

- ・「移動スーパー」や「にこにこバス」は将来滝沢町や鷺沢町には必要である。
- ・滝沢町は、移動スーパーを女性がよく利用している。
- ・地域から移動スーパーは便利という話は聞いている。

○10年後、20年後皆さんの地域がどのようになりたいか

- ・今後、限界集落に近くなる。行政として何を支援してくれるのか？車が通らなくなったところを今までどおり修繕してくれるのか？行政の方で定義してほしい。そのことが分からないと我々も考えようがない。
- ・「都田地区まで車で5分」などを「売り」にして、地域づくりをしてほしい。
- ・自然に恵まれた滝沢町。自動車メーカーなどの工場が近くにあるため、通勤ラッシュもない町に住んでみたいという場所になってほしい。
- ・風力発電の風車が設置から17、18年目となり、耐用年数が近づいている。耐用年数となった時、撤去できるのか？青い空の下で昔と同じように暮らしたい、仕事がしたい。撤去する際はぜひ行政に協力していただきたい。

- ・ 雑木が多いため伐採をしてほしい。
- ・ 7月に自治会役員で高所作業車を借りて奉仕作業を実施する予定だが、補助金があると嬉しい。
- ・ 世代によって課題が違う。
- ・ 死んだ後、自分たちの町がどうなっているのか、考えないといけない。
- ・ 地域の人たちに、地域外に出た息子を取り戻せとは言わないが、せめて地域外から入ってきた人たちを優しくもてなし、町を細々とでも残していこうという意思を見せたい。

佐久間：県立浜松湖北高等学校 佐久間分校

10人（生徒8人・教員2人）

2023(令和5)年6月29日(木) 13:30～15:10

【ワークショップ】

場所：佐久間協働センター

（議題）地域について考える

（方法）①参加した高校生を4人ずつ2グループに分ける。

②「地域の良いところ（強み）」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③「地域の課題（弱み）」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

④②、③をもとに、強みを伸ばすアイデアや課題を解決するアイデアを考え発表する。

●地域の良いところ（強み）

項 目	Aグループ	項 目	Bグループ
自 然	・ 自然が豊か ・ 山や川がきれい ・ 川遊びができる ・ キャンプを楽しめる ・ 景色がきれいなところが多い ・ シカにほぼ毎日会える ・ 絶滅危惧種の植物がある	自 然	・ 自然が豊か ・ 空気がきれい ・ 川で遊べる ・ 野生動物に会える ・ 歩いているだけで動物園になる
地 域	・ 地域の方が優しい ・ 近くに家がない（隣家が離れている） ・ 大声を出してもあまり怒られない ・ 大きな音を出してもいい ・ 静か ・ 夜、静かだから寝やすい ・ 花火がきれい（地割れ・佐高祭後） ・ 民俗的な文化が残っている ・ 吊り橋（絵になる） ・ 段ボールなどのゴミを自分で処理できる	人	・ 人が優しい ・ 人と人の距離が近い ・ 人と密接にかかわる ・ 生活の知恵を与えてくれる ・ いろいろな物を譲ってくれる ・ 時の流れがゆっくり ・ 高齢者がかわいい ・ 良いこどもに育つ ・ 伝統を大事にする人が多い ・ 感染症になりにくい
その他	・ 自然災害等で休校になりやすい ・ 坂があるからランニングの練習に適している ・ 高校に学生寮があるので通学しやすい ・ 旧佐久間中学校が残っていること	交 通	・ JR飯田線に秘境駅がたくさんある ・ 車にひかれない（交通量が少ない）

●地域の課題（弱み）

項 目	Aグループ	項 目	Bグループ
自 然	・夏暑く、冬寒い ・坂が多く大変 ・土砂崩れが多い ・自然災害に弱い ・日が陰るのが早い（山が高いため） ・雑草が伸びるのが早い ・ヤマビルがいる ・動物（シカ）が道路からどかない	自 然	・夏暑く、冬寒い ・1日の温度差が激しい ・土砂災害が起こる ・自然災害に弱い ・大雨で休校になりやすい ・杉等の花粉が多い ・虫が多い ・鳥の鳴き声がうるさい
店関係	・飲食店が少ない ・コンビニエンスストアがない ・専門的な店がない ・店の営業時間が短い（閉店時間が早い） ・新しい物を店に並べてほしい ・遊ぶ場所が無い	建 物	・店が少ない ・コンビニエンスストアがない ・時間を潰す場所が無い（カフェ、喫茶店等） ・遊ぶ場所が無い ・街灯が少ない ・働く場所が限られる ・空き家が多い
交 通	・都市部へ行くのに時間がかかる ・飯田線の運行本数が少ない ・交通費が多くかかる ・道路が狭い ・三遠南信自動車道が全線開通していない	交 通	・どこへ行くにも時間がかかる ・飯田線の運行本数が少ない ・交通のアクセスが悪い ・交通が不便
通 信	・携帯電話の電波が繋がらない ・トンネルや山道でも携帯電話の電波が通ってほしい	人	・人が少ない ・高齢化 ・若者が地域外へ出ていく ・こどもが少ない
騒 音	・ダム放水時に鳴るサイレンがうるさい ・草刈機のエンジン音がうるさい	風 土	・地域内で変化が起こりにくい ・何をやっても地域内の人にすぐ広まる
—	—	イベント	・他の地域から人が集まるイベントが少ない

●強みを伸ばすには？課題を解決するには？（アイデア）

Aグループ		Bグループ	
結 果	・みんなで伝統料理をつくるイベント開催（こどもから高齢者まで） ・空き家を利用してお化け屋敷のイベント開催 ・町全体で出店ができるようなイベントの開催 ⇒人が大勢来る ・空き家を利用して古民家カフェの開店 ・学生とコラボしてイベントの開催（人と人の距離が近いことをいかして） ・歴史を学ぶようなイベントの開催 ・塾をつくる（教育環境の格差解消）		・川を使ったイベント（川遊びなど） ・キャンプ場を利用したイベントを行う ・特大キャンプファイヤー ・ブラックバスを利用した料理で売り出す ・メディアを活用したPR ・動画配信チャンネルをつくってPR ・携帯電話の電波を5G対応にする ・イベントや祭りを宣伝して人を呼ぶ（ポスター） ・イベント費用をクラウドファンディングで募集する ・ジビエ料理のお店をつくる ・ジビエで儲けたお金を交通面に使う ・野生動物の皮を活用する ・コンビニエンスストアを開く
	・年齢層の広い友達ができる ・長生きする人が多くなる ・生活が豊かになる		

主な意見

(1) 集落全般について

- ・高齢化でいろいろなことを維持するのが大変になってきた。
- ・この集落の良いところは協力性がある。
- ・原材料支給事業で道路の穴埋めや、木柵等も直している。
- ・地元のある方が大野橋から集落までの道整備を10年以上やっている。自己負担でやってくれている。熊手なども自分で直してやってくれている。頭が下がる。
- ・景色が良い。電線がなくなると景観がより素晴らしくなる。
- ・大野には大野の景色があって、大沢には大沢の景色がある。山あいが違う。
- ・強い絆でまとまっており、自治会活動に積極的に参加している。
(4月の花見会、道づくり、盆行事、クリスマス会、常会)
- ・自分たちでできる事はやろうとする団結力がある。
- ・住民全ての人と快く挨拶や会話が遠慮なくできる。
- ・高齢者も畑を守り、主なお茶づくりや野菜づくりに日々奮闘している。
- ・訪問者の一声は「景色がきれい。空気が美味しい。道路は怖い。」

(2) 道路・交通について

- ・林道大野中根山線は生活道路。
- ・林道大野中根山線は協働センターの担当者が精力的に動いてくれて、早い対応で助かっている。
- ・林道大野中根山線の落方へ抜ける道は3年くらい前までは整備してくれていたが、最近はほとんど手付かず。市道水窪白倉川線は何回か通行止めがあり、万が一の時、市道が通れない、林道も通れないとなると八方塞がり移動する術がなくなる。落方に抜ける道もある程度整備してほしい。
- ・最低でも月に1回くらい点検をしてもらい、車が通れるよう確保してほしい。
- ・林道大野中根山線が開通する前に崩落で通れなくなり、ヘリコプターで物資を届けてもらったことがある。そういう事もかなり懸念される。林道はどちらにでも通れる状態に確保してほしい。
- ・林道大野中根山線の広場をこの周辺の土木工事をやった時に土捨て場にした。どんどん広くなった。ちょっとした土工事など持ってきていた。盛土の違反ではないけど熱海の事故があったので心配している。
- ・大きな岩があって何年か前に下に転がらないよう縛っているが、もし落ちた場合、下の市道まで行く可能性がある。どこかで見切りをつけるか別の土捨て場を。
- ・台風2号の時、業者から土を捨てるために入れさせてくれと地主に連絡があった。
- ・土が沢山になり心配になってきた。
- ・一見良いように見えるが途中から勾配が変わる。整備するか、これ以上入れないか固めてほしい。いいよいいよでやっている地主が責任を感じる。この段階で話を固めないと大惨事になる可能性がある。
- ・林道を生活道路扱いのような新しい柵をつくって、もう少し手厚い対応をする。そういう方法を検討してほしい。
- ・郵便配達員も大野の道は怖いと言っている。道路整備にもう少しお金を回せるよう考えてほしい。
- ・2年くらい前も沢から崩土があると、職員がジョレンで路面整備をやってくれた。職員が自ら動かないと道路が確保できないとは寂しい。
- ・天竜区に副市長が誕生した折には是非、大野まで一度きてほしい。ガードレールの状況、白線の消えかけている状況を見てほしい。

- ・毎年要望事項を大野自治会として、昨年は10件、林道主体で上げさせてもらっている。順番に悪いところを優先的に直してくれている。「検討します」という回答もあるが、全然やってくれない訳ではない。感謝している。
- ・昔の施工で網に吹き付けした場所で、掃除中に金具を30本くらい拾った。車がのるとパンクする。現地を確認してほしい。
- ・運転している時に道路しか見ないと気づかないが、法面の山側を見ると危険と感じるところが何か所がある。
- ・改良箇所が風化している。簡易モルタルが年月とともに剥がれた箇所がある。ピンが落ちていると言うことは、山がもたない可能性がある。

(3) 日常生活について

- ・雨が降ると家の裏の道が沢のようになりトイレに雨水が入る。
- ・車道から離れた家は、荷物の運搬にモノレールを使っている。

(4) 移動販売について

- ・昨年から週2回来てくれる。
- ・大野には来るが、大沢には来ない。
- ・要望用紙に記入すれば次回に品物を持ってきてくれる。
- ・ドローンを利用して配達ができるようになるとありがたい。
- ・リマインド方式で予約したら大沢に来てほしい。
- ・1回行くと1か月は行かないといけないのでお客が1人だと業者が困る。
- ・ふれあいバスの日が移動販売と被っているのでバスの日程を変更してほしい。
- ・お店を無くさないよう、移動販売車、水窪町のお店で買い物をしている。

(5) その他

- ・シカとサルが畑に来る。
- ・大沢集落にある宿には結構お客さんが来てくれている。神奈川県や三重県からもリピーターがいる。遠くは北海道、山口県から来た方もいる。1回来てリピーターになった方は2泊とかする人もいる。
- ・大野山から共同アンテナでテレビの線を引いている。受信点から大野まではNHKが予算を出してくれて光ケーブルに更新した。大沢は昔に年配の方がNHKを通さずにやってしまったためNHKが認めてくれない。同じ電波を使っていて大野テレビ組合に加入しているが、大野から大沢までの線が倒木で切れるとテレビ組合で修繕することになる。それ以外はNHKがみてくれる。大沢のほうもNHKで認めてほしい。
- ・飲料水供給施設は、横手タンクから大野集落まで配管を替えた。大沢からタンクまでのホースは45年以上経っている。ジョイントの部分やバルブが壊れたりするので、水道事業の補助金をもらってやっていかないと心配。
- ・途中にろ過機がない。大雨で水が濁ると風呂に入れない。3日くらいは濁った水になる。ろ過機も予算がつけば水道事業で設置したいと思っている。
- ・水道がない家がある。沢の水を溜めて生活している。冬になると水量が少なくなる。
- ・衛星電話が大野はA社、大沢はB社しか使えない。連絡がつかない。大野にもB社のアンテナを建ててほしい。
- ・A社は大雨時にはモバイルネットワークにつながらなくなる。災害時に連絡をとりたいけど使えない。

(1) 集落の現状について

- ・ 明治末期に王子製紙が進出。昭和に入り三信鉄道(現JR飯田線)が開通。古河鋳業が久根鋳山で銅の採掘を開始。昭和28年には佐久間ダム建設工事を開始した。近代資本が地域に入ってきて、それに伴い地域も潤ってきた。
- ・ 現在は高齢化、過疎化が顕著である。自治会加入は154世帯である。
- ・ コロナ禍も明け、祭典等のイベントの再開を計画しているが、在住者は年を取る一方で若者が入って来ないため、世代交代が進まず行事の運営は厳しい状況である。
- ・ 昔から地域のつながりを大切にする意識があり、祭典前の清掃活動等の共同作業は大勢の住民が参加してくれたため、なんとかやれている。
- ・ 現有戦力だけで自治会活動を維持していくことは大変であるため、関係人口や縁のつながりを深めていくことが重要である。行事や共同作業を盛り上げてもらうことにつながり、理想である。

(2) 医療・福祉について

- ・ さくまの里(高齢者福祉施設)のスタッフ不足が深刻である。さくまの里が運営する城西地区の施設ではケアマネジャーが不足して休止に至っている。人材不足に対する対応、支援をお願いしたい。
- ・ 佐久間病院も合併前からいってくれる院長の定年が近いと、病院の将来が心配である。

(3) 道路・交通・防災について

- ・ 風水害によって道路が寸断されることがよくある。防ぐことは難しいが、被害状況等については危機管理課、区役所、協働センターで情報を共有し、横断的な状況把握に努めてほしい。
- ・ 行政の縦割り感が強い。過去に自主防災での消火訓練のため消火栓の使用を消防へ確認したが認められなかった。水道部局は水を使うことについては問題ないが、使用すると水が濁ると言う。有事に備えて訓練を行いたいため、行政も協力をしてほしい。
- ・ 道路災害により通行止めとなったときに災害箇所の安全が確認できなければ通行できないため、迂回路利用期間の長期化は住民生活の負担が非常に大きい。早期の通行再開、復旧をお願いしたい。
- ・ 同報無線の屋外スピーカーは反響などもあり聞き取りづらい。また、災害ほっとメールでは、高齢者は携帯が使えない方も多いため、各戸に戸別受信機を設置した方が好ましいと思う。
- ・ 歴史と民話の郷会館に避難場所が開設されるが、徒歩で行ける距離ではないため車が必要。

(4) 農林業等について

- ・ 農業や林業の第1次産業で働く人が元気に活躍できるような政策、第1次産業を発展させる政策を行ってほしい。
- ・ 佐久間町の上市場地区、島中地区の農地の大部分が太陽光発電施設になった。地域の暮らしや景観を守るために、農地を残せる、守れるような規制ができないか。
- ・ 天竜川がきれいになってきている。鮎を放流しても川を下ってしまい地域内に残らないため、釣り人が減少し、漁協の入漁料も減少している。鮎釣りが地域の賑わいにもつながるため、何らかの対策を望む。

(5) 今後について

- ・アウトドア、ソロキャンプが流行っていて、上島キャンプ場にもバイクで来て一人で楽しむ人が増えている。三遠南信自動車道の整備も進み、佐久間に来てもらえるような地域にしていきたい。
- ・地域が街の若者や移住者を受け入れるための施策を進めてほしい。
- ・光回線がやっと整備された。若者の価値観が変わってきて、移住も含めたテレワークへの誘導を行政としても進めてほしい。
- ・若者が地域へ入って活動してくれるのは力強い。若い戦力を入れて地域を守っていくことが大事である。

(6) その他

- ・通信環境については、静岡県は愛知県よりも遅れているように思う。富山村では20年前から光回線が引かれていて、売木村ではケーブルテレビのようなシステムが導入されている。
- ・合併時は「クラスター型」で地域ごとの個性をいかす方針だったが、その後「ひとつの浜松」に変わり個性が無くなってしまった。個性のあるビジョンをつくってほしい。
- ・区の独自性を発揮できる施策。悪い所を克服して、良い所を伸ばしていく考え方で進めてほしい。

春野：春野地域自治会①

【ワークショップ】

自治会 20人
2023(令和5)年7月4日(火) 19:30~21:00
場所：春野協働センター

(議題) 春野地域の今・これからについて

(方法) ①参加者を10人ずつ2グループに分ける。

②これからの春野地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」かを付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②の達成のために「何ができるか」を付箋に記入し貼り付ける。

④③を「自分たち(住民)ができること」「行政に望むこと」に分けて整理する。

●Aグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか(実施主体)
人 口	・人口の増加 ・移住者やUターン者が増える	・お試し住宅を活用して、春野地域の良さを感じてもらい移住につなげる (住民・行政)
産 業	・産業の活性化	・春野から出ていくばかりでなく、産業を誘致する(住民・行政)
暮らし	・衣食住の充実	・イノシシ等の被害があるため、猟友会員を増やして対応することで安全な環境が保たれる(住民)
仕 事	・働き場所の確保	・雇用情報を伝えられる掲示板の作成 (住民・行政) ・春野に産業を誘致(住民・行政)

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
災 害	大雨の時に見回りをしてほしい	消防や警察は情報収集すると現場から離れてしまう時があり、交通整理を住民が半日ばかりで対応したこともある（住民・行政）
情 報 通 信	携帯電話がつながる	- 携帯電話基地局の増設 - 携帯電話会社や地主と交渉するため、住民と行政とで協力する必要がある（住民・行政）
交 通 (公共交通)	- ふれあいタクシー・ふれあいバスは今後も続けてほしい - ふれあいタクシーを利用しやすくしてほしい - バスの運行本数を増やしてほしい - 公共交通の存続	- 民間タクシーの活用（住民・行政） - 無人運転バス（行政） - 第3東名開通（行政）
道 路	- 道路の改良 - 道路の復旧・修復 - 道路がきれい - 街灯が明るい	_____
森 林	- 森林が整備されている - 山林の整備	- 災害時に行政に迅速に行動してほしい（行政） - 山間地域への助成（行政） - 木の伐採、枝打ちは地権者が実施
河 川	河川が整備されている	_____
共 助	共助の仕組みが整う	_____
情報・通信	情報の共有ができる体制の整備	_____
福 祉	一人暮らしの方のサポートの充実	- 見回り（住民） - 見守り・声かけ（住民） - 今できるボランティア活動
教 育 子育て	教育・子育ての特区	教育・子育ての特区化することで注目され、子連れの親子が増える（行政）
教 育 子育て (遊び場)	こどもの遊び場・公共の遊び場の安全	- 大人と一緒に付き添い、正しい遊び方を教える（住民） - 遊具が減らされることで利用しなくなるため、遊具を増やす（行政）
空き家	空き家問題の解決	空き家の見回りをする事で空き巣や動物からの被害を防ぐ（住民・行政）

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
獣 害	農作物を荒らす野生動物が多く出没するようになったので捕獲した野生動物をスムーズに処理したい	ジビエ加工施設が再活動しているのでジビエを利用（住民）
医 療	医療の充実	- 医療機関の維持（行政） - 医者がいない状況を防ぐことが必要（行政）

●Bグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
男女共同	女性の意見を吸い上げる仕組みがある	- 町内の行事やイベントへの参加（住民） - 話し合って意見を発表できる場所を多くつくる - 今日のように話し合う場を多くつくる - アンケートをとる（住民・行政）
交 通 (公共交通)	- 高校生の通学の負担を減らしたい - 通園の負担 - 公共交通・自主交通政策づくり - バスの運行本数を増やしてほしい - 街へ行く交通手段が確保されていてほしい	- 通学費の補助（全額補助）（行政） - タクシーやふれあいバスは通学に利用できないか？
災 害	災害の少ない防災施策の強化	————
教 育 子育て	- 幼保・学校まで少数でも学べる学校制度に転換 - 学校の生徒を増やしたい - 保育の機会を充実（こども園・預かり保育・保育ママ） - こどもが増えてほしい - こどもが増えてにぎやかな町になってほしい	- 認定こども園（行政） - 山村留学（住民） - 保育ママをもっと使える仕組みにする - 現場の声を聞いて！（住民・行政） - 芸術家の人に来てもらう（行政）
暮らし	- 高齢者が安心して住める町にしたい（町内で移動しやすく） - 一人暮らしの人、高齢でも元気な人もいるので、いつでも集える場所があれば、さみしさが補える - スーパーを増やしたい - 生活にかかわるものが安く購入できる - 食材や日用品が手に入る店があってほしい（通常価格） - 若者が暮らしやすい町にしたい - 住まいがある - 助け合いができる町づくり	- 町内の店を利用する（住民） - カップルの人が住みやすい地域づくり（生活しやすい仕掛けづくり）（住民・行政） - 空き家の紹介、住む家の提供（住民・行政）
医 療	病院があってほしい	————

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
人 口	- 若い世代の人たちが移住できるようにできたら良い - 若者が帰って来やすい町にしたい	町外から若者を連れてくる（住民・行政）
仕 事	働く場所を増やしたい	—
その他	- 元気のある明るい町 - 少ない人口で暮らし続けられる郷土という基本方針を持つ - 春野町にいたいと思う、うまみのようなものがあるといい	- 問題は声を上げる（住民・行政） - あきらめるのは無し（住民） - プロジェクトを立ち上げる（住民・行政） - 政策・施策づくりに住民代表の恒常的機関（評議会・審議会）をつくる（住民） - 住民を審議会メンバーにする（行政） - いろいろな人と接点を持つ（住民） - 人と人の横のつながりをつくる（住民） - リーダーの育成（住民）

三ヶ日：まちづくり協議会ほか

【ワークショップ】

地域団体 12人

2023(令和5)年7月5日(水) 14:00~15:00

場所：三ヶ日協働センター

(テーマ) これからの三ヶ日について

(方法) ①参加者を6人ずつ2グループに分ける。

②3つのテーマ

・「三ヶ日地域の自慢できるところ、良いところ、伸ばしていきたいところ」

・「課題、困っているところ、こうなるといいなと思うところ」

・「こうしていきたい! やってみたいこと、行政に望むこと、具体的な事業の提案」

を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②をもとに各グループで発表する。

●地域の良いところ（強み）

項 目	Aグループ	Bグループ
暮らし	- 山と湖がある - 良い意味でおせっかい。距離感が難しい - 若者たちが頑張っている - セミリタイア的な人には良い環境 - 農協の職員が協力的 - 伝統がある	- 粒がそろった組織が多い - 魅力ある人が多い - 地域で子育ての環境がある - 人口が減少しているが、移動販売を通じコミュニティがつながっている
産 業	- 三ヶ日独自の農協 - 認定農業者300人組織を維持できている - 農協としての後継者を維持していきたい - 三ヶ日みかんブランド健在	- みかん産業（衰退していない） - 農協青年連盟とJA職員が一丸となっている - JAの横のつながりがしっかりしている - 名店が多い（うなぎ、養蜂場、ホテルなど多い）

項 目	Aグループ	Bグループ
教 育	• 大人が地域や学校行事に協力的（教員と保護者の関係）	• 地域の人たちが学校支援に協力的
観 光	• マリンスポーツなど観光資源が豊富	• マリンスポーツ・パラグライダーなど人を集客する力がある

●地域の課題（弱み）

項 目	Aグループ	Bグループ
暮らし	• 少子化、若者が少ない • 田舎ならではの違和感 • 住みにくい点もあるが裏を返すと協力的 • 人口が減少している • 各団体一生懸命だが、メンバーが似ており負担も多い ⇒ やることが多く、横の連携がとれていない	• 町内でも生活における地域差がある • 後継者問題 • 移住者が少ない • 未就学児100人以下になっていく • こどもの減少。三ヶ日高校がなくなったことが大きな影響をもたらしている • 区再編で地元市議が不在になると地域の声が届きづらくなる • 議員頼みにならないようにしたい • 旧三ヶ日町のまとまりを残していきたい
産 業	• 気候変動による三ヶ日みかんのブランドが守れるか不安	_____
教 育	• こどもが少なく、部活の選択肢がないため、三ヶ日に戻ってこない	• 平山小学校や尾奈小学校の統廃合 • 保護者はこどもがいる期間は深く関わるが、卒業すると疎遠になる • 中学校も人数が減ってきている。公立であるメリットは大きい
獣 害	• 害獣が多い • 生態系が変わってきているように感じる • シカが急増	_____
環 境	• 跡取りがおらず、耕作放棄地が増加し、農地を宅地にできない状態が継続している • 市街化調整区域で家を建てたいのに建てられない • 空き家や空き地の問題	• 空き家が多い • 使われない土地とほしい土地がうまく連携できない
交 通	_____	• 山間部は交通の不便さが心配

●「こうしていきたい！やってみたいこと、行政に望むこと、具体的な事業の提案」

項 目	Aグループ	Bグループ
暮 らし	- 農地を宅地にできるとよい - 農業用倉庫は建設時に助成があったが、メンテナンスにも補助があるとよい - 各団体が共通の目的に向かえるようまとまりができると活性化できる - 小回りの利く行政であってほしい	直接意見が届けられる仕組みがほしい
産 業	農家はみかん以外の栽培にトライしてみることも必要	_____
教 育	_____	- 教育について考える場、話し合う場がほしい - 三ヶ日地域に高校が必要



結果：各団体等が共通の目的を持ち、行政と連携した地域づくり

春野：春野地域自治会②

【ワークショップ】

自治会 19人
2023(令和5)年7月6日(木) 19:30~21:00
場所：春野協働センター

(議題) 春野地域の今・これからについて

(方法) ①参加者を7人・2グループ、6人・1グループに分ける。

②これからの春野地域に関して「どのようにしたい」「どうあってほしい」かを付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②の達成のために「どうしたらいいか」を付箋に記入し貼り付ける。

④③を「自分たち(住民)ができること」「行政に望むこと」に分けて整理する。

●Aグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
交 通	- バスの運行本数を増やしてほしい - 高齢者が車の運転ができなくなった時のための交通機関の充実 - 交通弱者の救済を	スクールバスの有料運行(行政)

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか（実施主体）
防 災	・屋外の防災無線が聞こえない ・近くで火災が起こったが人手不足で消防団等が来るまでの消火が困難 ・災害になりそうな箇所の防災対策 ・迂回路の問題 ・安心して通れる迂回路を整備してほしい	・災害時の迂回路の整備（行政） ・インフラ整備などの災害予防（行政）
防 災 高 齢 化	・高齢化に伴う ・医療体制の充実 ・道路の整備（迂回路） ・起業するときの補助金 ・道路清掃が人手不足で運営ができない	_____
医 療	・医療問題 ・薬局が春野にないため不便	_____

●Bグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
人 口	・若者が楽しく生活できるような地域 ・住んでいる人が夢を持てるような場所	・特色ある学校、産業を考える（天竜高校 春野校舎の例…）（住民・行政） ・PR方法を色々考える（住民・行政）
移 住	・移住者が多ければ自治会に活力がみられるが、多すぎるのも問題	_____
産 業	・お茶の栽培がこの先途絶えないでほしい ・林業が昔のように産業として成り立つようになってほしい ・農林業の後継者不足（耕作放棄地の増加）	・SNSで映えるパッケージの制作（住民） ・町内の木材で住宅を建てる子育て家族に無償で木材を提供し、それを循環させる（行政）
医 療	・眼科や耳鼻科など専門医院があるといい ・病院が遠い ・特に小児科が困る	・専門医が交代で春野に来る（行政） ・春野に佐久間病院みたいな大きい病院をつくる（行政） ・医師を招く（行政） ・専門医が週に何度か来る（常駐でなくてよい）
雇 用	・若者の仕事がある	・景色を利用 ・自然体験できる施設→仕事につながる（住民・行政） ・空き家をアート化（アートレジデンス）（住民・行政）

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
防 災	- 大雨時の土砂災害 - 同報無線がうまく聞こえない - 大雨による災害が起きる前に早めの対応をしてほしい	- 全家庭にもっと感度のよい広報のラジオを配る（行政） - 地域に特化した広報誌をつくる（行政） - 事前の備えをしっかりとし、火災発生時には地域で協力する（住民）
交 通	- 自家用車がないと生活できない - 公共交通の充実 - 街から行きやすい場所になってほしい	- 浜北まで直で行けるバイパスをつくる（行政） - 共助型タクシーの充実
施 設	泊まる場所、遊べる場所が増えてほしい	- 学校を宿泊施設へ（住民・行政） - 廃校を活用
教 育	- 学校がなくなる - フリースクールなどをつくっては？	子育てには良い環境がある
その他	現状のまま	_____

●Cグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
公共交通	- 安価なタクシー - 高速道路を通す - 公共交通機関がほしい - バスが1日1本通っている - 移動手段に困らない - 交通機関が充実	- スクールバスの利用 - 高速道路などをつくる（行政） - 運行バス（病院・買い物）
雇 用	- 魅力ある仕事場 - 若者たちの仕事ができる場所 - 若者が働ける仕事があるといい - 若者の数を増やしたい - 仕事する場所（工場）増やす - 企業誘致	- 地域おこし協力隊（住民・行政） - 茶工場（住民） - アルバイト（住民） - 温泉を掘る（住民・行政） - 茶業組合から求人を出せば働く人も来る - 若者が来るためには、高速道路をつくり、工場等の環境が変われば、若者が増える
教育機関	- 学校を増やす - 子供が学校に行きやすい	バスの運行本数を増やす
レジャー	- キャンプ場などレジャー施設 - 旧キャンプ場を再開したい	企業や個人でのレジャー施設を設置していく（グランピング、スペース貸し等）（住民）
趣 味	春野文化センターでやっているヨガやダンスなどを公民館でもやってほしい	_____
飲食店	- 商店や食堂・カフェがあったらいい - コンビニエンスストア・スーパー	飲食店の復活

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのために何ができるか（実施主体）
病 院	・病院があるといい ・病院が少ない ・専門医がいてくれるといい ・健康面のサポートをしてくれる施設が必要 ・病院に行きたい時に行ける ・専門医を受診できる	・曜日別に専門医をおく（行政） ・春野町病院をつくる
放棄地	・放棄山林や茶畑を整備してほしい ・耕作放棄地の再生	・放棄茶の木を三年番茶に加工 ・春野耕作隊に協力を得る（住民） ・間伐材を何かに利用（住民）
災 害	・道路や土砂崩れなどの災害に強くあってほしい	・要望を出すしかない（住民・行政） ・迂回路をつくる
獣 害	・シカやイノシシを減らしてほしい	———

引佐：寺野自治会

【座談会】

自治会 14人
2023(令和5)年7月8日(土) 19:00~20:00
場所：寺野公民館

(1) 住みやすいところ

- ・地域と一緒に住んでいる人たちがみんな優しい。
- ・地域みんなが仲良くできる。
- ・新しい人（移住者）が来ても快く迎え入れてくれる。
- ・三遠南信自動車道ICができて遠くに出かけやすくなり孤立感がなくなった。
- ・寺野地区のほとんどが南向きの斜面にあり、日当たりが良い。
- ・伝統文化（寺野ひよんどり）や文化財がある。
- ・浅間山（愛知百名山）が近くにあり、愛知県から観光客も来ている。
- ・公民館の横に共同の売店があり、今も続いている。地元の人たちのふれあえる場所となっている。
- ・自然に恵まれており子育てには環境が良い。
- ・湧水が豊富でこどもの水遊びも水道代を気にしないですむ。
- ・湧水がきれいなためタガメも飼育できる。（3～4年繁殖している）
- ・水、米、茶がおいしい。
- ・茶摘みの時期になると隣近所で協力して手伝いに行く。（お茶手摘み体験ができる）
- ・30代、40代の人たちの地域愛が強い（若連の集まりや祭りなどの行事）。

(2) 住みにくいところ

- ・三遠南信自動車道ができるまでは、道が狭く住みにくかった。
- ・食料品を購入するためには遠く（井伊谷地区）まで出かけるため、時間がかかる。
- ・近くにある商店には、たばこもお酒も売っていない。
- ・高齢者は車が無いと、一人では買い物に行けない。家族や知り合いに頼るしかない。
- ・あまりバスを利用することはなかったが、バスがなくなって不便と感じた。
- ・有害鳥獣が増えて作物の被害も増えている。

- ・マダニが増えた。
- ・7年程前にはいなかったが、シカが増え、道路沿いの草むらや茶畑にいる。
- ・ニホンカモシカも増えた（14年程前はめずらしかった）。
- ・ヤマビルや外来種の生き物が今後増えるのではないかと心配。
- ・三遠南信自動車道の橋脚の下や公園や市の土地に植えられた西洋すすきがすごく増えている。種が飛ばなく広がらない品種として植えられたが、いろいろなところで生息している。幹が太く大きく、根も固く、除草剤でも枯れない。地元でも対応しきれないので、処分を行政にお願いしたい。
- ・渋川寺野こども会は少人数になってしまう。
- ・平成4年には211人（小学生20人）いた人口が現在80人に減ってしまった。
- ・寺野にはこどもが少ないため友達がほしい。
- ・有害鳥獣を駆除できる猟友会の会員が少ないため駆除しきれない。猟友会に入ってくれる人がほしい。

(3) 今後どうしたら住みやすくなるか

- ・今までと同様に、みんなで集まって、みんなで話し合っ、みんなで決めて、みんなで実行すれば説明する必要もなく、祭りや自治会の活動ができる。
- ・若者が寺野地区で仕事をして生活していく環境がない。若者たちは都市部に出るしかなく、三遠南信自動車道があっても5～6年後に戻ってきえてくれるかわからない。
- ・いなさみどりバスは、幼・小・中学生の送り迎えをして、その空き時間を高齢者等のバスとして利用している。令和元年の時に、小学1年生が中学3年生になるまで継続することになっているが、その後はどうなるのか。
- ・今は高齢者でも免許を返上せず運転できる人も、5～6年後には車を持たなくなり医療機関や買い物に行くことが困難になる。いなさみどりバスを利用する人が少ないために、赤字になり便数を減らしたり、廃止したりすることはやめてほしい。
- ・地域交通の仕組みができないか。地元に住んで自動車の運転ができる人がタクシーの代わりを行えるような制度ができると買い物や通院ができる。
- ・他の地区（10軒程の集落）では、全世帯が携帯電話を利用したネットワークを使って助け合っている。1軒の家で運転できない人が出たため、都合のつく人を探して、買い物先や医療機関へ送っている。今は対応できるが今後どうなるかわからない。

(4) 10年後どうなっているか

- ・住民の高齢化が進み、自分のことで精いっぱいになっている。
- ・70歳まで勤めていると自治会の役職をやる人がいなくなる。

(5) その他

- ・各地で高齢化が進み、高齢者による草刈りは危険と新聞に出ていた。少子化対策だけでなく、高齢化対策も行政で検討してほしい。
- ・鳥獣（特にシカ）の被害が増えている。地域内を柵で囲っているところもあり、今後検討したい。

（議題）春野地域について考える

（方法）①出席した天竜高校春野校舎生徒の中で、春野町内在住者6人のグループ、春野町外在住者6人のグループに分ける。

②春野地域の「良いところ」「強み」「課題」「弱み」を1点ずつ付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②をもとに春野地域の「強みの活用」や「課題解決のためのアイデア」を出し合う。

●Aグループ（春野町内）

項 目	春野地域の「良いところ」「強み」
自然・環境	・自然が豊か ・静か ・空気がおいしい（きれい） ・水や空気がきれいなところ ・川がきれいで魚がいる ・木・川・空がきれい⇒写真映え ・生き物がたくさんいる
食べ物	・ヤマメ・鮎がおいしい ・お茶がおいしい ・食べ物がおいしい ・色々なところで椎茸が育てられている ・猪肉・鹿肉がよくとれる
伝統・文化	・昔のものが残っている ・伝説（言い伝え）が多い ・秋葉原の由来になった神社がある（秋葉神社）
観 光	・川で遊ぶことができる ・山に登ることができる ・春埜杉が有名 ・観光地が多い ・天狗が有名 ・キャンプが楽しめる ・四季折々のイベントができる ・カフェ（古民家カフェなど）がたくさんある
人	・温かい ・人と人との距離が近い ・穏やか ・優しい
土 地	・土地が安い ・空いている土地が多い

項 目	春野地域の「良いところ」「強み」
その他	• 平和に散歩ができる • 良い意味で無駄なものがない

項 目	春野地域の「課題」「弱み」
空き家・空き地	• 空き家や空き地が多い
交 通 公共交通	• 道が狭い • バスの運行本数が少ない • 交通機関が少ない（電車が通っていない） • 観光地を巡るにしても車がなければ行けないところが多い • 都市部のショッピングセンターに行くまでに車で1時間かかる • 友達の家に行くまでに時間がかかる • 移動するのに時間・労力・お金がかかる
人 口	• 人口が少ない • 春野町外へ出ていく（入ってはこない）
少子化 ・ 高齢化	• 若者が少ないこと • こどもが少ない • 高齢者が多い
お 店	• お店が少ない（スーパーなど） • 買い物をする場所がない • 買い忘れをしたら後戻りできない • コンビニエンスストア・スーパー・ドラッグストアなどがほしい • 大きなお店（ショッピングモール・大きめのスーパーなど）がない • 新しいものが売っていない • 店がなくなっていく
施 設	• 宿泊施設や職場、遊ぶ場所が少ない • 映画館などがない
イベント	• 魅力的なイベントが少ない • 行事が減っている
環 境	• 暮らすとなると不便 • 田舎って感じがする • 夏は暑く、冬は寒い
通 信	• 携帯電話の電波が悪い
災 害	• 雷がよく鳴る • 自然災害が多い • 土砂崩れが多い

項 目	春野地域の「課題」「弱み」
学 校	• クラスが変わらない • 部活の種類が少ない • 学校数が少ない
その他	• バイクの交通量が多い • パトカーなどのサイレン音が響く • 街灯が少ない • 虫が多い • 「これ」といった春野を象徴する物がない

項 目	春野地域の「強みの活用」「課題解決のためのアイデア」
お 店	• 椎茸、鹿肉・猪肉やお茶を他の町で売り宣伝する • 有名なもの（椎茸など）を使った料理の販売 • 他の町の肉屋や焼き肉屋に、鹿肉・猪肉を販売してもらい興味を持たせる • ジビエ料理を推してお店を増やす • カフェをつくり、春野の特産物の料理を出す
施 設	• できれば、ショッピングモールや大きなスーパーをつくる • コンビニエンスストアやスーパー、ドラッグストアを設置することで生活が便利になる • 道の駅の設置
空き家・ 空き地	• 空き家や空き地を貸し出してお店を誘致する • 空き家をリメイクして売る • 空き家を宿泊施設にする • 空き家をリメイクして、泊まりで地域体験をできるようにする • 土地の安さをアピールし別荘など誘致する
移 住	• 田舎に来たい、住みたい人を集める • 移住してきた人の手当、サービスを豊かにする
雇 用	• お店をつくり働きたいので、つくれる場所を探している人たちを集めて商店街にぎやかにする • 空き家を直して安値で売り、仕事場とすることで雇用を創出する
企業誘致	• 企業を誘致
P R	• 春野をPRする（広告、ポスター、チラシの作成） • SNSで発信する • 写真スポット的なもののマップをつくる • 釣り場や川、キャンプ場を宣伝する • 大きくなくても特産品の集まる店をつくり、他の町にも宣伝する • 今ある店をYou Tubeなど活用し動画でPRする

項 目	春野地域の「強みの活用」 「課題解決のためのアイデア」
その他	• 登山ガイドをする • サイクリングスポットをつくる • 特産物などをブランド化する • 春野の木材を使って家具などをつくり、販売する • 公園に遊具を増やす • 春野の木材を使ってアスレチックをつくる • 仕事環境（インターネット環境）を整える • 学校の部活で教えてくれる指導者を募集する • 川の流れが速いため水力発電を設置 • 幼稚園も送迎バスをつくる

●Bグループ（春野町内）

項 目	春野地域の「良いところ」 「強み」
自 然	• 動物が多い • 山に囲まれて涼しい • 川がきれい • 自然が豊か
産 業	• 農業林業が盛ん
観 光	• 観光名所がある（日本一の大天狗面、明神峡） • 観光スポットが多い • 商業施設が多い • キャンプ場がたくさんある • 特産物である青ねりが美味しい
文 化	• 秋葉神社がある • 歴史が長い

項 目	春野地域の「課題」 「弱み」
自 然	• 虫が多い • 草木が多い
人 口	• 人口が減少している • 高齢化率が高い • 高齢者多く過疎化が進んでいる • 平成27年の国勢調査では、春野地域の高齢化率が48.3%
生活環境	• スーパーが少ない • 薬局や遊び場がない • 街灯が少ない • Wi-Fi電波が弱い • 携帯電話の電波が繋がりにくい場所がある

項 目	春野地域の「課題」「弱み」
交 通	• バスの運行本数が少ない • 公共交通機関が少ない • 鉄道が通ってない • 道路の本数が少ない • 利便性（道路）があまり良くない • 高速道路が通っていない
災害・防災	• 気候の変化が激しい • 水害（土砂崩れ）に弱い • 土砂災害が多い
雇 用	• 地域内に働く場所がない

項 目	春野地域の「強みの活用」「課題解決のためのアイデア」
道路・交通	• 新東名高速道路の支線を建設 • 道路またはトンネルの建設、道路の本数を増やす、トンネルの開通 • 自動運転のバスを導入する • BRT（バス専用道路）をつくる
生 活	• コンビニエンスストア・スーパーなど、生活施設を増やす • 薬局等による移動販売の実施
アクティビティ	• 秋葉神社ガイドツアー • 若者や自然・文化・観光に興味がある人を呼んで、春野の魅力をアピールする • 星を見るなどのイベントの開催 • 自然を利用したアクティビティを実施 • サバイバルゲーム場を、廃校など利用してつくる • 明神峡でボルダリング、気田川でカヌー川下り、サバイバルゲーム • 登山道をつくる
環 境	• リモートワークができる環境を整える • 公共施設にフリーWi-Fiをつける
施 設	• こども向け施設をつくる • 市営の施設を建設
P R	• 春野町公式のYou Tubeチャンネルをつくる • 春野にしかないものを全面的に押し上げていく

(1) 集落・生活の現状等について

- ・人口が減っていく中で今後どうなっていくのか不安。人が減れば商売も儲からなくなる。
- ・家の両隣が空き家となり、回覧板を少し遠くまで届けないといけなくなった。
- ・市からの広報等について回覧しているが、隣といっても遠いため、高齢化も進み山道を歩いて届けるのが危険を伴い大変になってきている。配布物を1か所に置いて取りに来てもらうことも考えてはいるが、郵送するなどの対応も検討してほしい。
- ・10~15年先、野田地域の人口が半分近く減ることも考えられ、自治会活動の維持も難しくなると思う。地域の世代交代が進まず、自治会を解散しなければいけない自治会が今後出てくると思う。
- ・大沼班、11世帯。ほとんどが一人世帯、一番歳が若い人は班長で、もうすぐ70歳。地域で行う奉仕作業（草刈りや道づくり等）も手が回らない状況である。
- ・移動販売車が来るようになり、週1回は地域で買い物ができるようになった。宅配業者や地元の店も上手に使わないと、撤退したり潰れたりしかねない。
- ・インターネットの光回線が開通したためWi-Fiが使えるようになった。
- ・行政書士をやっているが、佐久間、水窪、龍山地域は行政書士が少ない。高齢で辞め時もあるが、相続問題等の需要が多く辞められない。
- ・相続財産の国庫帰属制度が始まり、空き家対策や所有者不明土地の問題について行政としても考えてほしい。
- ・地上デジタル放送はテレビ組合の共聴アンテナで各世帯で視聴しているが、設備が古くなり故障時に保守業者から部品が無くなってきていると聞いた。各世帯で視聴可能かの調査などがあるといい。

(2) 医療・福祉について

- ・医療と道路の整備が十分でないことが、住民の一番の不安である。災害などで道路通行止め時に透析患者の通院について、不安が特に大きい。

(3) こども・子育てについて

- ・湖北高校佐久間分校に学生寮があるが、中学生用にも寮をつくって地域外から呼び込んでみてはどうか。
- ・城西小学校が閉校して5~6年経つが、地域に高齢者しかいない。若い世代が住んで子育てできるような補助が必要だと思う。こどもがいないと地域に未来がない。
- ・愛知県北設楽郡東栄町では児童数が維持されている。他地域の事例を調査、研究して、浜松市の中山間地域へいかしていただけるとありがたい。

(4) 文化

- ・昔は、歴史と民話の郷会館で歌手等の公演があり楽しみもあったが、合併してから公演が無くなった。浜松や天竜で行う会議等は行くのが遠くて参加するのに難しい。
- ・今田地区に300年近く続いていると言われる民俗文化財の「花の舞」は、地区にこどもがいなくなり、継承できなくなってきており、住民も減り自然消滅が危惧される状況である。

(5) 道路・交通・防災について

- ・野田地区の避難所が城西ふれあいセンターになっているが、水窪川と河内川が合流する地点であるため危険ではないか？

- ・大雨の時に道路に倒木があり、住民で協力して倒木除去して通行できるようにした。今回は大きな被害がなかったが、大雨や災害時の道路の問題は心配である。
- ・6月の大雨の時、国道152号が通行止めになり三遠南信自動車道を迂回するよう案内されたが国道151号が通行止めであった。県を越えて迂回路となる場合は、その道が通れるかは確認して案内してほしい。
- ・三遠南信自動車道の整備に伴う作業用道路ができるため、開通後も利用できるようにしてほしい。地域の存続に大きな影響が生まれるため、医療や救急の面からみても強くお願いしたい。
- ・農道開設するにあたり土地を市へ提供しているが、提供した後も、提供した人それぞれ草刈りをしている。今後、高齢化で対応できなくなってくる。
- ・林道と市道で道路の草刈りや側溝の管理等の対応が異なることがある。部署や予算に違いがあるのは分かるが、住民にとっては同じ生活道路であるため、生活道路の管理や対応する課をつくる等今後対応を考えてほしい。

(6) 農林業等について

- ・家の周囲で空き家が増え、耕作放棄地が増えることで動物の住処になっている。人口が減っていくことで、耕作放棄、山林放棄が進み、所有者不明の土地が増えていくと思う。
- ・山へ行けばヒルやダニに刺され、農業も働き難くなっている。
- ・茶畑を持つ家のほとんどが、高齢化、後継者不足で製茶工場も減りお茶を摘むことができなくなっている。放置した茶の木は太く高くなり処分が困難になってくる。住環境、生活環境維持のため、茶の木の適正処理に対して助成する等の制度や市で事業実施ができないか？

(7) 今後について

- ・地元の住民では気づかない野田の魅力を感じてくれる若者たちや都市部の住民と、いろいろな話や交流ができる場があるといい。新たな魅力の発見ができる。
- ・東京に住み、佐久間へ農作業をしに来る人がいることを聞いた。新東名高速道路と三遠南信自動車道を使うことで魅力的な地域で農業ができるらしい。空き家や情報発信を上手に使うと、地域に関心を持ってもらえる人が増えればいいと思う。
- ・人口やこどもの減少で、ふれあいバスの存続が危ぶまれる。こどもの減少は非常に怖い。

(8) その他

- ・区再編に伴う担当副市長の設置や中山間担当部署の設置は心強い。期待している。
- ・浜松市総合計画ではスマートシティと言われている。歩いて病院、買い物、学校に行ける。どれも中山間地域とは対照的。市の大きな方向性はスマートシティでいいが、中山間地域はどのような位置づけなのか？
- ・佐久間ダム完成時には水没する集落が集団移転した。地域の人口が徐々に減少するなかで、地域に残されていく人たちはなかなか厳しい。みんな一斉に転出してしまった方が楽なのかと考えることもある。中山間地域の10年後、20年後を考えたときに何が幸せなのか。

佐久間：小中PTA、消防団員

【座談会】

若年層 8人

2023(令和5)年7月18日(火) 19:00~20:05

場所：佐久間協働センター

(1) 学校の現状等について

- ・浦川小学校は全校児童数11人で、市内で児童数が一番少ない。今後児童数は減り続ける見通しで、令和6年度末は閉校し、令和7年度から佐久間小学校への編入について、現在協議している。(浦川幼稚園も同じく閉園し佐久間幼稚園へ編入予定)

(2) 学校・教育について

- ・ 学校が統合された場合の浦川地区から佐久間小学校への通学について、ＪＲ飯田線が大雨などで運休が多いため不安に感じている保護者がいる。
- ・ 浜松市の決まりで、通学には公共交通機関を使用しなければいけないと聞いている。スクールバスがあれば良い。
- ・ 佐久間小学校の校舎が古く、トイレの入り口が男女一緒に部屋の中で分離されている。今の時代にはありえない。今後、改善してほしい。
- ・ 城西地区在住。学区は佐久間小学校だが、車で5分で行ける水窪小学校へ通っている。学区外通学のためスクールバスを走らせてもらえない。学区は城西小学校閉校時に当時の保護者等で佐久間小学校への編入を決めたものである。時代に合わせて、柔軟に対応してもらえれば少しは住みやすい。こどもの学校までの送迎がなかなか負担である。
- ・ 山香地区にはスクールバスがあるが佐久間地区にはない。佐久間のこどもは徒歩で鉄橋を渡り、佐久間小学校へ通学する必要があるため、親が送迎しているケースもある。山香地区のスクールバスに佐久間地区の児童が乗車できる等、柔軟に対応できるといい。
- ・ こどもが減ってきていることで、湖北高校佐久間分校がいつまで存続できるか心配。高校がなくなること地元に残る人が減り、人口減少に拍車がかかることが心配。

(3) こども・子育てについて

- ・ 女性が出産後に働こうとしても、こどもを預けられるところがない。女性が働ける環境が整っていない。
- ・ 知り合いは、車で30分～1時間かけて愛知県北設楽郡東栄町の保育園にこどもを預けて仕事をしていたが、愛知県北設楽郡東栄町へ引っ越してしまった。
- ・ 「市民の声」に子育て世代に優しい地域を…と意見をあげたが、「人口が少ないため…」との回答で終わってしまった。「人口が少ないからやらない」のか「人口を増やすために環境を整える」のか難しいところ。

(4) 消防団の現状等について

- ・ 団員は佐久間第1分団28名、第2分団27名。数字だけで見れば多いと感じるが、約半数は機能別団員で普段の活動はせず、有事の際に協力してくれるＯＢ団員である。
- ・ 団員は佐久間地域在住・在勤が条件であり、約半分は天竜や浜北在住者で、佐久間地域の在勤者である。
- ・ 以前は団員の定年が38歳だったが、現在は団員数減少により定年制が廃止され、一定年齢で団の役職を終えた後、一般の団員として活動を継続している団員も多い。
- ・ 若い年齢の団員が役職を務め、その下に年上の経験がある団員が就いているため、やりづらさがある。
- ・ 定年制があった頃は、「あと何年頑張れば消防団活動が終わる。」と思い活動に励んでいたが、今は終わりが無いため気持ち的に非常に大変である。

(5) 住宅事情について

- ・ 森林組合に若者が就職した。山香地区の市営住宅に入居を予定していたが、住宅のボイラーが故障していて修繕の予定も無いとのことから入居できなかった。せっかく佐久間へ就職すると言ってくれても住むところが無いのが現状である。
- ・ 市営住宅に住んでいたが、がけ崩れの危険があるため退去させられた。
- ・ 町外から来る人にとって厳しい。
- ・ 空き家を探しても、住める空き家が見つからない。
- ・ 愛知県東栄町では空き家や住宅の紹介、斡旋をしてくれる。

(6) 道路・交通について

- ・道路が良くなってほしい。特に山香地区から城西地区の国道は道幅が狭く路面はガタガタ。大型車の通行もあるため改良してほしい。山間部は道路整備の優先順位が低いように感じる。

(7) 日常生活・地域の活動等について

- ・祭典における若連活動で自分の親年代と付き合うことが多い。慣れてはいるが、年上ばかりで居心地が良くないと感じることもある。同年代がいればいい。
- ・祭典は地域によってまちまちだが、中部地区は自治会が準備し若連が当日協力する。若連に定年の決まりはなく、自分のこどもが若連に入ると親が抜けていく感じ。中部地区は若連の循環（世代交代）が多少あると思う。浦川地区はいつも同じメンバーの印象。
- ・消防団へ地域の花火大会の警備依頼がある。年に4～5件あるため、警備に出なければいけない大変さはあるが、地域に花火があるのはとても素晴らしいと思う。
- ・城西に「今田花の舞」があるが、10年先、20年先は続けられないと思う。
- ・「竜神の舞」は保存会が活動している。メンバーの入れ替わりが少ないまま年を重ねているため、舞の道具が重くて、活動が大変になってきている。
- ・佐久間で暮らし始めて15年目になる。「人が足りない」とよく耳にするが、“いる人”の事をとても大切にしてくれる。温かい地域ですごくいい。
- ・さくまの里に勤務している。幼稚園児から高校生までボランティアで来てくれる。施設利用者も喜び、こどもにとってもいい経験。続けてほしいし、支援していきたい。

(8) その他

- ・耕作放棄地の貸し付けの斡旋等を行ってみてはどうか
- ・こどもが愛知県北設楽郡東栄町のサッカーチームに入っている。こどもがすごく多いが、地元よりも移住者が多いらしい。
- ・市には「人が少ないからやらない」ではなく、「人を増やすためにやろう!」という考えで取り組んでほしい。

春野：幼少中PTA、春野森林組合、消防団ほか

若年層 18人

【ワークショップ】

2023(令和5)年7月25日(火) 19:30～21:00

場所：春野協働センター

(議題) 春野地域の今・これからについて

(方法) ①参加者を7人ずつ3グループに分ける。

②これからの春野地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」を付箋に記入し、分類して項目を付ける。

③②の達成のために「どうしたらいいか」を付箋に記入し貼り付ける。

④③を「自分たち(住民)ができること」「行政に望むこと」に分けて整理する。

●Aグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか（実施主体）
公共交通	• 車がないと生活できない（こどもも） • バス・タクシーをもう少し増やすほうが良い • 交通手段が少なく車での移動が大半を占める • 幼稚園児・高齢者などの交通弱者も暮らしやすくなるといい • スクールバスに老若男女、みんなで乗れたらいい • スクールバス混乗についての話し合いの場があったらいい • いろいろな世代が歩み寄り、譲り合って、スクールバスを有効に利用できるといい	• 春野のえがおのタクシーの活用をする（行政） • スクールバスが通ることができない道ではタクシーを利用することができる（行政） • 地域交通バスで、通学・通園できるようにしたい（行政） • スクールバスの活用 • スクールバスと路線バスの接続を考えたい • スクールバスのニーズを調べる（住民・行政） • スクールバスをどんなふうにも有効利用できるか話し合う場を設ける（行政） • 砂川地区はとりあえず、みんな仕事で山を下りるので、乗合タクシーみたいなのもできたらいい
復 旧 ・ 防 災	• 林道・市道の早期復旧 • 6月の豪雨により小石間トンネルが通れなくなったので迂回路の整備をしてほしい	• 行政に声を掛けつづける（住民） • 道路の復旧について、困っていることを訴える（住民） • 行政に伝えて市道や林道を整備してもらおう（住民）
小学校の 存続	• 犬居小学校が存続してほしい • 犬居小学校がコミュニティスクールとして盛り上がるといい	• コミュニティスクールの話し合いに参加してみたい（住民・行政） • こどもが在学しているかどうかに関わらず、犬居小学校に関わりたい（住民）
こどもの ための 医療	• 小児科がない • 救急の時の病院がない（特に夜間）	• 若い教員に来てほしいが、厳しい • 協働センターの歯科医みたいに小児科医も来てもらえたら助かる（行政）
子育て と仕事 の両立	• サンサンクラブ（学童）の開設日が少なく、共働きできない • 認定こども園になってくれると共働きの夫婦も移住しやすい • 子育てしながら仕事ができる所は知り合いが多くてやりづらい • 理解をしてもらえるように面接時に伝え入社しても難しいため退職になってしまう	• 春野町に一つは、安心してこどもを預けられる施設がほしい（行政） • 預かり設備がある職場・一緒に働く人の理解がほしい（行政）
その他	—————	• 春野観光名所をつくる • 今あるものをもっとアピールする（住民・行政）

●Bグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか(実施主体)
仕 事	• 町内の職場が少ない 通勤が大変 • 若者向けの仕事が増えればよい • 仕事場が高齢化していて常に人手不足である • 若い世代が町外に就職	• 既存企業のIT化・デジタル化(企業) • 春野での仕事先を集めて紹介する(企業) • 大企業(IT)誘致(行政)
子育て	• こどもの預け先が少ない (育休明けで預けられない)	• 職場でこどもをみてもらう(企業) • 教育・子育てを特区化する(行政) • 学童の開設時間など幅を広げる
防 災	• 最近の雨の降り方は予想できないので、 土砂災害について心配 • 消防団員の減少	—————
人口減少	• 子育て世代が町外へ出てしまう • 少子化により生徒数が少ない • 若者が暮らしやすい町 • 高齢者の一人暮らしの増 • PTAの実家庭数が少ない	• デジタルCityはるの(行政)
医 療	• 病院(特に耳鼻科)が遠い	• 24時間受付可能な病院をつくる (住民・企業・行政) • 総合的な病院・施設(老人・こども)施設の整備 • 介護施設の要介護のくくりを変える (山間地域特化)
移 住	• 町外に出た人のUターン移住	• 仕事先と住居の提供(企業) • 既存の春野の資源を使って外にアピール (住民・行政) • 空き家を減らす(行政)
通 信 ・ 交 通	• 通信・交通インフラ不便	• 通信網の準備(山間地区) • 鉄道・高速道路誘致(行政) • 電車の(天竜-春野-森)路線をつくる • 高校へ通う際に大きなバス停・電車の駅 までスクールバスを運行可能とする
まち づくり	• 春野愛であふれる町 • 活気のある町 • 高齢者が安心して暮らせる町	• 各世代間コミュニケーションの場・イベント(住民) • 春野地域の情報集約(住民・行政) • 春野町をもっとアピールする(住民)
その他	—————	• 他の地域の良い所を取り入れる (住民・企業・行政)

●Cグループ

項 目	地域を「どのようにしたい」「どうあってほしい」	そのためにどうしたらいいか（実施主体）
生 活	・100年先もいきいきした町であってほしい ・町民みんなで助け合いのできる町 ・いつでも帰っておいで ・いつでも移住しておいで ・町の人たちがいつでも集える場所 ・祭りや文化の継承 ・学校のスクールバス継続	・無関心ではいられるが無関係ではいられないという意識を持つ（住民） ・春野出身者の協力（住民） ・団体として提案（住民） ・みんなで話し合える場所づくり（住民・行政） ・共助（住民）
教 育	・子育て教育が充実した町 ・地域を愛せるような教育 ・春野町が特別区として他にはない町にしたい	・今の課題を集約・行政と協力して前に進める（住民・行政）
雇 用	・若者が楽しめる所がほしい ・娯楽施設がもっとほしい ・新しい産業 ・飲み屋が近くにほしい ・働く場所が増えてほしい	・コワーキングスペースをつくる（行政） ・若者がチャレンジしやすい環境をつくる（行政） ・観光施設の建設や温泉を掘る（住民・行政） ・企業誘致（住民・行政）
環 境	・景観整備 ・山がよく崩れるようになった ・山林の整備保全	・土木関係者の若返り、人員増（住民）
交 通	・電車が通る町 ・高齢者（免許返納）の交通 ・通勤に時間がかかる ・市道や林道など生活道の整備 ・高速道路を通してほしい ・バスの運行本数が少ない ・公共交通の充実	_____
通 信	・携帯電話の電波が届かない所が多い	・電波塔をつくってもらう（行政）
情 報	・町内のイベント情報もっと知りたい ・町内の情報が集約 ⇒ 助け合い ・春野の中でも知らないことがたくさんある ・町内情報の共有 ⇒ 同報無線の活用	・イベント等情報 ・企画 ⇒ 発信 ・春野地域の情報を集約（住民・行政）
医 療 暮 らし	・こどもがかかる病院がない ・今あるお店はそのまま残っていてほしい	・大きい病院から当番で医者に来てもらう（行政） ・町内の人が町内で買い物をする（住民）
その他	・河川監視カメラの設置 ・防犯カメラの設置 ・廃校・空き家利用 ・街灯が少ない ・ふれあい公園の遊具が減った	_____

主な意見

- ・中学生17人、小学生27人、新一年生0人、幼稚園3人と生徒数は少なくなっているが、元気にやっている。
- ・「よかつつらみさくぼ」は水窪文化会館の管理業務を委託するということで地域のNPO団体と観光協会の3団体が合同で地域を活性化する目的で立ち上げた。主には、水窪文化会館の管理業務をやっている。水窪文化会館の管理は、水窪文化会館だけではなく、体育施設、小畑グラウンド、テニスコート、民俗資料館等も含めお手伝いをしていただいている。
- ・すばらしいスタッフがあり、市が望む以上にやってくれている。文化会館の展示、講座等の企画とかやっている。今後、さらに発展して地域の生涯学習がどんどん浸透していったら、みなさんの生活が豊かになることを目指して活動している団体である。
- ・PTA活動を地域のみなさんにも手伝ってもらって活動している。資源回収等。
- ・小学校では昔は日曜日に奉仕活動をやっていたが、今は父親参観の後に清掃活動を生徒と一緒にやっている。親の負担を減らすよう学校も配慮している。人数が少なくなったので抱き合わせが多くなった。
- ・随分PTA活動内容が変わってきている。PTAの組織の人数が減ってきているので役員の人数も減っている。委員も簡素化している。
- ・人数が減っているからその分親に負担があるかと言ったらそういう訳ではなくて、そんなに負担に感じることはない。
- ・地域でこどものことを見てくれているので助かっています。知らない人ではなく、みんな知っている人なので、周りがいろいろ助けてくれる。地域で見守ってくれる。
- ・授業内容が手厚いと思う。特に部活は地域によって変わるので、街の方では小学校3年生は部活に参加できない学校があるけど、水窪は小学校3年生でも参加できる。プールの部活もしっかり先生方が見てくれるので全く泳げない子は多分いないと思う。街の方では3年生、4年生で泳げない子の話は結構聞く。小さいうちから見てもらえるのはこどもたちにとって強みになると思う。
- ・浜松山里いきいき応援隊に赴任する時、地域に入れるか不安があったが、迎え入れてもらった。
- ・意外と電子機器に触れる人が多い。スマホ教室とかやっているのもあると思うが、都市部の高齢者より触れているかなと思う。
- ・スマホ教室は文化会館の事業の前からやっていて浸透してきた。
- ・2年間やっていてその中から一人独立した方が携帯電話関連の店を出してくださっていつでも相談に行ける場所ができた。行くといつも高齢者がいる。
- ・事業者は利益度外視してやって下さり、高齢者のスマホ利用率向上に対する成果が凄く大きいと感じている。
- ・今日、浜北でスマホ教室をやってきた。浜北女性の会からの依頼でやってきた。静岡県下にどんどんこの動きが広がり始めている。発端是水窪から。
- ・こどもは講座を楽しみにしている。
- ・こどもとのつながりもあるが、高齢者の手助けをしたい。
- ・もうちょっと高齢者の手助けをしたいなと感じている。買い物支援は安否確認にもなる。
- ・PTA活動、奉仕活動、支援活動、昔より負担軽減している。
- ・人口減少により、以前よりも資源回収の量が減っている。それだけ活動時間が短縮になった。
- ・活動自体、人が少なくなればできることも少なくなる。少なくなったなりに地域の方が協力してくれる。地域の負担が大きくなる。

- ・学校の部活動は平日のみ。土日はクラブチームで活動する。部活も2時間と限られた時間でやっている。
- ・クラブ活動の場を増やしてほしい。スポーツに限られる。協力できる大人を増やしてほしい。
- ・中学校の野球は、水窪・光が丘・春野・清竜の4チーム合同でやっている。
- ・浜名区はNPOでクラブチームがあるが天竜区にはない。
- ・平日はキャッチボールくらいしかできない。
- ・湖北高校佐久間分校がなくなると不安。今は20人くらいで安定しているが今後は分からない。
- ・小学校、中学校は休校すると開校は難しいので不安。
- ・学校がないと移住の選択に入らない。
- ・自助・共助・公助。一定の理解はできるが、もう十分やっている。手一杯。高齢化率65%、3人で7人を支えることになる。
- ・仕事として地域を支える仕組みがあるとよい。
- ・70代でも働いている。世代交代ができない。職場も高齢化している。
- ・70代後半にならないとボランティアに協力できない。
- ・給料が安く掛け持ちで仕事している。
- ・NPOまちづくりネットワークWillで、放課後こども教室を実施しているため、こどもの成長を追える。今年、プールの監視を大学生にやってもらった。人員確保が大変だった。
- ・一人の負担が増えている。いろんな役を引き受けている。
- ・できれば水窪に住み続けたいと思うが、人口が減っていくので今後の生活に不安がある。
- ・生活道（国道や市道等）の道中も崩れるから住むには難しい。
- ・災害の不安。復旧に時間がかかる。
- ・よその人を見るとたまに来るには良い所だが、住むのは不便が多いのではないかな。
- ・住んでいて不便はないが、生活における不安が大きい。
- ・SNSを勉強していこうと思うが進んでいない。コアな内容など使い分けて勉強している。
- ・民間主導でやったほうが自由に発信できる。ユーチューバー等の方が表現しやすい。
- ・良い所をアピールして移住者が来てくれたら嬉しい。
- ・天竜ルールをつくってもらい、臨機応変に対応してほしい。
- ・中心部と同じルールではできないことも。一市多制度が嬉しかった。
- ・地域個別制度。バスの料金が市内統一は不公平。都市部は200円で買い物や病院に行けるが、田舎はいけな。水窪は終点まで行かないといけな。
- ・学区外通学児童がいる。城西から水窪は学区外で通学バスがない。水窪なら4km、佐久間は20kmかかる。枠組みがなくなるとよい。

引佐：伊平自治会

【ワークショップ】

自治会 15人

2023(令和5)年8月4日(金) 19:00~20:00

場所：伊平基幹集落センター

(テーマ) 伊平区をもっと住みやすくしよう

(方法) ①参加者を3グループに分ける。

②伊平区の「住みやすいところ」「住みにくいところ」を付箋に記入する。

③「住みにくいところ」を「住みやすいところ」にするために「どうしたらよいか」を付箋に記入する。

④それを解決するために「自分たちができること」「行政ができること」を付箋に記入する。

⑤各グループで発表する。

●Aグループ（大人7人・小人1人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	• 周りに家がない (+) • 地域の人と仲良く暮らせる (+) • 野菜を分けてもらえる (+) • 気候が温暖で住みやすい (+) • お店が無い (-) • 高齢化が進んでいる (-) • 自治会行事が多い (-)	• お店をつくる • 若い世代を移住させる活動をする • 自治会行事を減らす	• 行政が積極的に過疎化対策をし、人口増加政策をする（行政）
環境	• 自然豊かである (+) • 自然災害が多い (-) （特に地滑り地域が多い） • 浜松いなさJCTがあるのに (-) - あまり活用されていない	• 浜松いなさJCT付近に商店やガソリンスタンドをつくる	• お店を誘致する（行政） • 移住者用の土地を用意する（行政・民間）
交通	• 浜松いなさICに近い (+) • ガソリンスタンドが少ない (-) • 公共交通機関がない (-)	_____	_____
情報	_____	• イベントを企画して情報発信する • SNSで良い所を発信	_____
教育	• 手厚く子どもをみてもらえる (+) • のびのび子育てができる (+) • 小学校が無い (-)	• 子育て世代の移住者を増やす	_____
雇用	• 働く会社がある (+) • 地域に会社が少ない (-)	_____	• 行政が会社を誘致する（行政）
通信	• 光回線がない (-)	• 既存の光回線を延長してもらう	_____
まとめ ①昔から住んでいる人には、店がない・会社がない・学校がないということで住みにくい地域だが、移住者にとっては、住みやすく良い環境であると捉えている。 ②近くに浜松いなさJCTがあるので、積極的に企業を誘致してほしい。人口の減少は、若者がいない⇒子どもがいない⇒学校もない、ということにつながる。もっと地域を活性化し、若い住民を増やしてほしい。 ③地元の幼稚園では、子どもより先生方の方が多く、手厚い教育をしてもらえておりありがたい。 ④6月の大雨（自然災害）では、1名の死亡者まで出た。 人が亡くなってから対策するのでは遅いので、早期に地滑り対策を講じてほしい。 なお、伊平地区でも地滑り地域の居住者が、伊平地区から引っ越すことになってしまった。			

●Bグループ（大人4人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	• 近所の人が優しい (+) • 郵便局とJAが近くにある (+) • 井戸が多い (+) • 空き家が多い (-)	• 移住者を求める	• Welcome集落制度のメンバーを増やす（民間）

●Bグループ（大人4人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
環境	• 空気が美味しく静かである (+) • 自然豊かで水資源が多い (+) • 体育館が使いやすい (+) • 獣害が多い (-) • 虫が多い (-)	• 有害鳥獣駆除の実施 • 虫を好きになってもらう	• 猟師のなり方を広報する(行政)
交通	• 新東名高速道路が近い (+) • なおとら線が曜日限定である (-) • 高校へのアクセスが悪い (-) • 金指地区が渋滞する (-) • 徒歩、自転車で行けるスーパーがない (-) • 市街地まで60分も掛かる (-) • 公共交通機関が乏しい (-)	• なおとら線の全日運行 • 朝方、井伊谷方面のバスがほしい	• 行政から遠州鉄道にお願いしてもらう(行政)
教育	• 川遊びができる (+) • 自然が豊富で虫・草花が身近 (+) • ファーブル昆虫記の世界がそこにある (+) • こども同士の触れ合いが少ない (-) • 塾が近くにない (-) • 公園がない (-) • 小学校がない (-)	• 小学校をつくる • 若者を集める • 基幹集落センターで習いごと教室を開講する • 地域包括支援センターを伊平で開設する	• フリースクールをつくり、市に認定してもらう(行政・民間) • NPO法人大地に支援センターをつくる(行政・民間)
雇用	• 雇用がない (-)	• 企業を誘致する	—————
通信	• 携帯電話大手キャリアの電波が入る (+) • 共聴テレビにお金が掛かる (-)	• テレビ組合の無料化	• 光テレビやネットで観るようにする(行政・民間)
医療	• 北消防署引佐出張所が近くにある (+) • 診療所しかない (-)	—————	—————

まとめ

- ①空気が美味しく、自然が豊かで住みやすい。川遊びができ、昆虫もいっぱいいて、こどもたちが喜ぶ。
- ②何かを誰かに聞くと、誰でも親切に答えてくれる地域のすばらしさ。(近所付き合いがしやすい) 中山間地域の特性か。
- ③地域に公園がほしい。(具体的には、旧伊平小グラウンドに遊具の設置を要望)
- ④困る点として、空き家が多い・獣害が多い・雇用がない・塾がない・高校に行くバスがない・テレビにお金が掛かる。
- ⑤要望として、なおとら線の増便・企業誘致・診療所週3日の診療日を増やす・猟師のなり方を市がもっとPRしてほしい。
- ⑥Welcome集落制度の周知をして、移住者を増やしてほしい。
- ⑦地域包括支援センターを旧伊平小学校に開設してほしい。

●Cグループ（大人5人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	- 車の通りが少ない (+) - 家が近すぎない (+) - お店が無い (-) - 特産品が少ない (-) - 人口が少ない (-)	- 宅配システムの普及 - 空き家を貸す - イベントの開催	- 健康な体を維持し、医療費を削減する（民間） - 移住者に補助金を出す（行政） - 税金のばらまきをなくす（行政）
環境	- 水が美味しく、川がきれい (+) - 緑が多く、自然が豊か (+) - サル・イノシシが出る (-) - 動物の食害等被害が多い (-)	自然をいかしたレジャー施設をつくる	山林の保全（行政・民間）
交通	- 高速道路の浜松いなさICに近い (+) - 高速道路へのアクセスが良い (+) - バスがない (-) - 交通手段が少ない (-) - 国道が渋滞する (-)	- バス路線を再開させる - 自動運転タクシーの導入	- 市でバスを提供する（行政） - いなさみどりバスを利用する（行政）
情報	光回線が通った (+)	地域に話題をつくる	_____
教育	- 学校の生徒数が少ない (+) - 学校が無い (-)	- スクールバスを出してほしい - こどもを増やす	若者（移住者）を増やす（行政・民間）
雇用	- 会社まで遠い (-) - 地域に産業がない (-)	企業を誘致する	企業団地をつくる（行政）
通信	- 光回線はつながる (+) - 携帯電話の電波が届かない (-)	- 通信費を安くする 5G化する	_____

まとめ

- ①自然が豊かで、ネット環境も整備されている。
- ②地元にお店がないため、車がないと生活が困難である。また、バス路線もなく買物弱者が出現してしまう。
- ③地域に産業がなく、人口も減少しているため、移住者を募集してほしい。その手段として、空き家の活用や交通手段を増やしてほしい。
- ④企業を誘致したり、移住者への助成金交付や新たな住宅制度を考えてほしい。
- ⑤せっかく、浜松いなさICが近くにあるので、新たな産業を構築してほしい。

引佐：小中PTA、NPOひずるしい鎮玉ほか

若年層 8人

2023(令和5)年8月20日(日) 13:30~14:30

【ワークショップ】

場所：田沢多目的集会所

(テーマ) 鎮玉地区をもっと住みやすくしよう

(方法) ①参加者を3グループに分ける。

②鎮玉地区の「住みやすいところ」「住みにくいところ」を付箋に記入する。

③「住みにくいところ」を「住みやすいところ」にするために「どうしたらよいか」を付箋に記入する。

④それを解決するために「自分たちができること」「行政ができること」を付箋に記入する。

⑤各グループで発表する。

●Aグループ（4人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	• 冬季に水道管が凍る (-) • 車がないと地域バスやタクシーでは不便	• 近くにガソリンスタンドをつくる	_____
環境	• 自然が豊か (+) • 仕事、買物などすべて他地域に行く • 避難地に行くのに川沿いから崩れそうなところを通るため危険	• 国道沿いを美しく整備 • 空き家の活用 • 買い物など他地域に行かず、地元の店を利用する	• 空き家の調査（行政・民間）
交通	• 路線バスの便数が少ないなど交通が課題 (-) • 車がないと生活できない (-) • 学校が半日休になった時は帰りの足がない (-)	• 生活時間に合わせた交通手段が必要 • 地域を回るバスの充実（ドライバーや法律の壁がある）	• 当地区に移住しやすい環境を整える（空き家の調査を含め）（行政・民間） • 天竜や京都で実施している地域交通の仕組みをやったらかどうか（民間）
教育	• 交通機関の便数が少なく高校に通いにくい(選択肢が限られる) (-) • 学習・進学塾が遠い (-) • 高校への通学は送り迎えが必要 (-)	_____	• 当地区と他地区の違いは各種の機関・施設が遠いことにある • このため、高校生の通学費補助金など金銭的な措置が必要(行政)
雇用	• 高速道路の入口が近い	• 若者が働きやすい環境づくり（企業集め） • 農業 ⇒ 生産 ⇒ 加工 ⇒ 販売と地元で賄えるように • 中山間地域で何か商売したい人の誘致などのエリアをつくる	_____
情報	• 地元間の交流がある (+) • 飲食店が少ない (-)	• 地元の行事や人の紹介など情報を集約する	• 小中学校拠点に地元の商品の紹介（継続的に）（行政・民間）
通信	• A社の電波がない (-)（引佐小中学校周辺） • 光回線が繋がったが速度が遅く感じる (-)	_____	_____
まとめ ①雇用を含めて外に魅力があるため人口が少なくなる。 ②人を呼ぶためには住むところが必要。 ③空き家はあるが簡単に引き渡すことができない。 ④ただ空き家の調査をするだけでなく、人と人をつなげることも含めてほしい。 ⑤ここに町をつくるような環境整備が必要になる。			

●Bグループ（4人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
生活	• テレワークなら快適 (+) • 地元の食が豊か (+) • 生活音が気にならない (+) • 老後への不安 (-) • デリバリーサービスが使えない (-) • 買い物不便 (-)	• 配送ステーションの整備・雇用（運送会社の協力） • 中山間地限定の住民税の軽減をしたらかどうか	• 配送ステーションをつくる（行政） • 住民税を下げてもらう（行政）

●Bグループ（4人）

項目	住みやすい(+)・住みにくい(-)	どうしたらよいか	解決策
環境	• 自然が豊かで空気が澄んでいる (+) • 珍しい生物が見られる (+) • 地域が静かで安心して生活 (+) できる • ハザード区域のため新築が (-) 建てにくい地域 • 鳥獣被害が多い (-) • 山林の整備ができてないと (-) ころがある	• ハザード区域内新築リフォームへの助成 • 猟師を増やす • 鳥獣対策の予算を増やす	• ハザード区域での新築、リフォーム、転入への補填 (行政) • 狩猟に興味を持ってる人向けのイベント等の開催 (行政・民間)
交通	• 田舎だが、都市部へ出やすい (+) • 渋滞がない (+) • 道路状況が良くない (-) • 交通基盤が弱い (-) • バスがいない、ガソリンスタンドがない (-) • 通学時の送迎等親の負担が (-) 大きい	• 相乗りなどの共助 • 自動運転のバスの導入 • ガソリンスタンドがほしい • 通学交通費の補助 • ハイヤーの送迎	• 規制の緩和 (ライドシェア) (行政) • いなさみどりバスの利用 (行政) • 電気自動車への切替 (民間) • 通学通院への交通費補助 (行政)
教育	• 自然の遊び場が豊富 (+) • こどもが少人数のため細やかな教育を受けられる (+) • 個々を大切に接してくれる (+) • 学校の選択肢が少ない (-) • 児童数が少ない (-) • 保育園がない (-)	• オンライン授業の一般化 • 遠隔地の学校との合同授業 • 幼稚園を認定こども園に変える	• 教職員を増やす (行政) • 0才からこどもを預けられる認定こども園などをつくる (行政)
雇用	• 地域に住民同士のつながり (+) がある • 人間関係が濃い (+) • 働く場所が少ない、または (-) 遠い	• 企業誘致 • テレワーク企業の優遇 • 利益率の高い事業を地域でつくる • 新しいアイデアで空いた土地の有効活用 • 新しい産業を生み出す	• 企業進出のハードルを下げる (行政) • 起業を支援する施策を創設 (行政) • 農業資産の活用 (行政・民間)
情報	• 情報・サービスの格差 (-) • 情報伝達が煩雑 (回覧・TEL) (-)	• 1家に1台デジタルデバイスを設置 • 回覧等情報伝達ルールの統一	_____
通信	• 不便を感じない (+) • 部分的に携帯電話キャリア (-) の相性がある • 通信速度が安定しない (-)	• インターネットインフラの整備	_____

まとめ

- ①地域全体が魅力的な地域、外の人にとって住みやすい。
- ②魅力的な事業がある。
- ③何か一つテーマを持った地域にすることが解決策になる。

その他の意見

- 働く世代にはこどもを預ける施設（保育園）がある地域を選んでしまう。預け先でこどものコミュニティができてしまい、小学校が決まってしまう。ここに住みながら地域から出てしまう。この10年間で0～16歳の人口が40%減っている。若年層の人口流出を止めるには、保育園機能を持った施設を設置する必要がある。
- 中山間地に住む人には都市部に比べて目に見えない負担がある。
- 住んでいた地域に戻りたいが、戻るためのメリットがほしい。

〇日々の生活の現状や、今後の生活についての意見

【空き家について】

- ・ 空き家の草が伸びて困っている。以前は地域で草刈りをしていたが、地域の人が減り、対応ができていない。
- ・ 空き家が多く、所有者もほとんどが地域外に居住しており、状況を確認しに来ない。所有者がしっかり管理してほしい。

【移動販売について】

- ・ 移動販売車が毎週1回指定された時間に来てくれるが、そうでない地域もある。申し込みが必要と思われる。
- ・ 移動販売が薬も持って来てくれるため助かっている。

【災害について】

- ・ ここ数年災害による道路の迂回が多く、迅速な道路復旧対応をお願いしたい。
- ・ 生活道として使える道路が1、2本しかないため、迂回路や道路の事前対策整備をしてほしい。
- ・ 国道や迂回路となる道の整備をしてほしい。
- ・ 国道152号のトンネルも夜間通行止めとなる、夜間も通してほしい。
- ・ 長期にわたる国道等の通行止め時の対応を考えてほしい。

【医療・福祉について】

- ・ 近所に人がいないことから、一人暮らし高齢者世帯の安否をすぐに確認できるシステムができるといい。
- ・ 就職先や学校がないため、若い世代の人が実家に戻ることや、移住することは厳しい。社会福祉協議会や包括支援センター、民生委員、公共の福祉サービスがあるが、80代の人が運転したりしている。家族の支援があっても、大変だと思う。5年後が心配である。
- ・ 龍山には専門医がいない。地域外の医療機関の整形外科を受診しており、息子が送迎してくれているものの、今後継続して受診、リハビリも難しくなってくるため、龍山診療所にてリハビリの対応をしてくれるといい。
- ・ 一人暮らしの高齢者世帯が増えているが、お互い助け合って生活している。

【交通について】

- ・ 家族の支援を受けられる家庭やそうでない家庭もある。買い物など外出が厳しい世帯もあるため、バスの運行本数を増やすなど対策を検討してほしい。
- ・ 龍山ふれあいバスは事前申し込みが必要。停留所まで歩くのが大変。タクシーならすぐに家まで来てくれて楽だが、お金がかかってしまう。
- ・ 人口減少や高齢化により飲料水供給施設の管理が難しい状況となっている。
- ・ 同報無線が河川の音で聞こえにくい。白倉地区の個別受信機も音がこもって聞き取りにくいので、テストするなど確認をしてほしい。
- ・ 三遠南信自動車道ができたが、龍山は取り残されてしまった気がする。

【防災について】

- ・ 以前、避難所が5階建ての龍山総合センターという施設で安心できたが、現在は龍山保健センターとなっており、行くまでの道が心配。高さのある避難所があればいい。

【その他生活に関すること】

- ・自治会の役員は行政経験者が適任だと思う。
- ・NPO法人も人手不足で活性化できていない。
- ・浜松山里いきいき応援隊員が地域サロンに来てくれて助かっている。
- ・政令市になり龍山独自の敬老会等他地域と合同開催することにより行事が減らされた。区の再編でこれ以上、龍山の良さを減らされないか心配。
- ・住民の意見が反映された行政サポートと言える事業等あるのか？
- ・静岡文化芸術大学の教授が「人口減少は止めることができないが、祭りを無くさないことが大切」と話があった。祭りの活性化につながる予算をつけてほしい。100人以上の人が集まるなど人口減少対策にも一役担う。継続していくことが地域の活性化へつながる。
- ・以前は、家賃が無料であることが魅力で龍山地域に居住していた人がいた。地域も喜んでいたが、学校がないため子育てが難しく転居してしまった。子育て世代には大変な環境であると思う。
- ・地域にこどもの声がしないことが寂しい。

龍山：瀬尻自治会

【座談会】

自治会 16人
2023(令和5)年12月6日(水) 16:00~17:00
場所：龍山森林文化会館

【防災、道路、水道について】

- ・災害時の迂回路が危険であるため市道・林道等を迂回路として整備してほしい。
- ・道路に枝葉が被り、道路中央を通らないとすれ違いできない道が多くなった。
- ・国道の落石等の位置も分かっているので自治会や市から山林所有者に周知してほしい。なるべく費用を掛けず整備できるようにしてほしい。
- ・市道、林道等で横断側溝等設置の要望をしても断られている。生活道路なので整備をお願いしたい。
- ・集落の道は、林道等でつながっているが国道も含め修繕に時間を要している。森林環境譲与税が令和4年の1億円から4億円になるのに林道の維持管理費の予算が減っている。
- ・森林環境譲与税が増えた分、一般財源を減らしていないか。イベントに5,000万円使っているが災害対策に重点的に予算を充ててもらわないと林道、水道が困る。
- ・森林環境譲与税は面積割りであるため、森林があるところに予算を使ってほしい。
- ・水道を整備してもらったが住民も少なくなり管理が大変になった。経費の半分負担や水質検査の代行は助かるが、地元負担は倍になった。
- ・大雨など断水すると支援を受けて地元が早朝から深夜までかかって水源等修理する。管理しないとまともな生活ができないので、市直営の上水道にしてほしい。
- ・水道業者が天竜区からいなくなると遠方からの業者しかなく、不便になる。

【農業、森林について】

- ・農地を放置する家が多くなっている。農業委員会が天竜区になく目が行き届かないので鳥獣被害が多くなる。
- ・シカ、サルの鳥獣被害が多いので良い駆除方法などがあればと思う。
- ・高齢者への農業支援制度の条件(期間5年)が厳しすぎるので条件を緩和してほしい。
- ・国は大規模農家を重視しているが、お茶の単価等も低く資材価格が高騰しているので小規模農家を重視してほしい。
- ・磐田市の農協がお茶の農閑期の作物栽培を検討しているとのことなので、磐田市と同様な施策など協議いただき農家を支援してほしい。

- ・ 1,000円徴収する森林環境譲与税の分配方法が変わり、市には全国第2位の金額が入るので使い方の内訳を示してほしい。

【子育てについて】

- ・ 竜川幼稚園がなくなったら龍山で子育てできない。子育て環境の整備をしてほしい。

【その他生活について】

- ・ 地域の年齢構成は70歳代が多く、その下の人口がほとんどいない。10年後は市民協働ができない人口構造になると思うので10年先を見据えた計画を考えてほしい。
- ・ 集中の政策から分散の政策を考えないと龍山は消滅すると思う。
- ・ 1月に区が再編され行政が簡素化されてサービスが減る。5年先は人口が減り市民協働の社会とはならない。1月から副市長が天竜区に常駐するが新しい3区でどのような政策をとるかを聞きたい。
- ・ 天竜区は人口減少するが他の区も同じだと思う。その面で天竜区は先進地域だと思うが、その先進地域に電源立地交付金、森林環境譲与税等がどう使われているかわからない。充当してもらえればすぐ使える。過疎計画、振興計画等の中に入れてもらえたらありがたい。
- ・ 中部電力が共聴のアンテナを整備してくれたがテレビ電波の受信状態が悪い。障害なく受信できるような体制にしてほしい。
- ・ 光回線が家庭に入って来てデジタル化の世界になっている。ネットで発注し、ドローンで配達し動ける人が集配所に取りに行く等方法があると思う。NPO法人もあるので事業化できればと思う。
- ・ 地域づくりに森林環境譲与税を充当して、対応していけば天竜区は先進地事例となるのではないかな。